

令和 6 年度愛知県献血推進協議会

日時：令和 7 年 2 月 7 日（金）

午後 2 時から午後 3 時 3 0 分まで

場所：愛知県庁本庁舎 6 階 正庁

1 挨拶

2 議題

（１）令和 6 年度愛知県献血推進計画の進捗状況について（資料 1）

（２）令和 7 年度愛知県献血推進計画（案）について（資料 2）

3 その他

愛知県献血推進協議会資料

資料 1

- ・ 令和 6 年度愛知県献血推進計画 1
- ・ 血液事業の現状について 8
- ・ 令和 6 年度血液事業概要 29

資料 2

- ・ 国計画（案）及び県計画（案）の今年度からの主な変更点 . . 33
- ・ 令和 7 年度愛知県献血推進計画（案） 34
- ・ 令和 7 年度血液事業（案）の概要 41
- ・ 令和 7 年度献血推進のための具体的方策（案） 42

令和 6 年度愛知県献血推進計画

本推進計画は、安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律（昭和 31 年法律第 160 号。以下「法」という。）第 9 条により定める基本方針及び法第 10 条により定める献血推進計画に基づき、本県における令和 6 年度の献血の推進に関する計画について、愛知県献血推進協議会（以下「献血推進協議会」という。）の意見を踏まえて定めたものである。

なお、献血推進協議会に関する事項については、別に定める。

第 1 基本的な考え方

- 1 県、市町村、愛知県赤十字血液センター（以下「血液センター」という。）、地区献血推進協議会及び献血推進組織等は、協力して、相互扶助に基づく献血の必要性について県民の理解を求め、献血推進運動を展開する。
- 2 今後の人口動態を考慮すると、献血可能人口が減少すると推定されていることから、特に若年層の献血への理解を深めるための普及・啓発を推進する。

第 2 関係者の役割

- 1 県は、県民の献血への理解を深め、広報や献血組織の育成等により、献血を推進していくために必要な施策を実施するとともに、血液センターの献血受入計画の実施を確保するための協力を行う。
- 2 市町村は、国及び県と協力して、県民の献血への理解を深めるため普及啓発等を実施するとともに、血液センターの献血受入計画の実施を確保するため、献血会場の確保等の協力を行う。
- 3 血液センターは、国、県及び市町村が行う献血推進の取組に積極的に協力するとともに、県と協議のうえ献血受入計画を作成し、献血受入体制を着実に整備し、献血目標量を確保するための措置を講ずる。また、献血者の安全に配慮するとともに、献血者に心の充足感をもたらし、継続して献血に協力できる環境の整備を行う。
- 4 県及び市町村は、若年層の献血への理解を深めるため、学校に対しても積極的に協力を呼びかける。
- 5 企業等は、献血を休暇措置の対象とする等、進んで献血しやすい環境作りに取り組む。

第 3 献血目標量の設定

県は、国が示した献血目標量に基づき血液センターと協議のうえ、献血目標量及び献血目標者数を種類別（200mL、400mL、成分献血（血漿、血小板））に設定する。

令和 6 年度の献血目標量及び献血目標者数は以下のとおりとする。なお、各市町村の目標は別に示す。

種類別目標数

		献血目標者数 (人)	献血目標量 (単位)	血液量 (L)	原料血漿量 (L)
全血 献血	200mL 献血	6,610	6,610	1,322	684
	400mL 献血	174,730	349,460	69,892	32,294
	小 計	181,340	356,070	71,214	32,978
成分 献血	血漿成分献血	71,370	356,850	40,910	29,389
	血小板成分献血	34,020	340,200	17,993	7,846
	小 計	105,390	697,050	58,903	37,235
合 計		286,730	1,053,120	130,117	70,213

- * 献血目標量の単位は、200mL 献血を 1 単位、400mL 献血を 2 単位、血漿成分献血を 5 単位、血小板成分献血を 10 単位とする。
- * 血液量の換算は、200mL=0.2L、400mL=0.4L、血漿成分献血（輸血用）=0.48L、血小板成分献血=0.4L とする。ただし、血漿成分献血及び血小板成分献血は原料血漿用を含む、分割製造用を含む等の理由により、表の血液量と換算値は合致しない。

第4 献血目標量を確保するために必要な措置

1 献血に関する普及啓発及び広報活動の実施

県は、市町村及び血液センターの協力を得て、輸血用血液製剤及び血漿分画製剤（以下「血液製剤」という。）の安定供給を確保し、その国内自給を推進する。そのため、献血や血液製剤について県民に正確な情報を伝え、その理解と献血への協力を求める事業を次のとおり展開する。

（1）若年層、幼少期への普及啓発

- ア 高校生、大学生等の若い献血可能な世代を対象としたリーフレット及び啓発資材を作成し、二十歳の集いや学校等を通じて配布する。また、次世代の献血者を育てていくために、小学生の親子を対象として血液教室を開催し、親子が献血に触れ合う機会を設ける。
- イ 愛知県学生献血連盟等、若年層の献血ボランティア団体の活動を支援することにより、大学等における献血運動を推進する。
- ウ SNSを含むインターネット等を主体とした情報発信により、気軽に目に触れる機会を増やすとともに、献血の行動へと繋げるため、国が作成した献血推進キャラクター「けんけつちゃん」を活用し、報道機関及び各関係機関の協力を得て、実効性のある効果的な広報活動を展開する。
- エ 関係機関の協力を得ながら血液センターの活動を支援することにより、高校生を対象とした献血に関する知識の普及を図る。

オ 血液センターは、「献血セミナー」を開催するとともに、血液センター等での体験学習の機会を積極的に設ける。また、「献血セミナー」等をきっかけとして献血に関心を持った献血未経験者等に献血 WEB 会員サービス「ラブラッド」への登録を働きかける。

カ 県及び市町村は、血液センターが実施する「献血セミナー」や血液センター等での体験学習の機会を学校等において積極的に活用してもらえるよう情報提供を行う。

(2) 企業等における献血の推進

ア 移動採血における献血状況で大きな割合を占める企業等における献血を推進するため、職域の実情に即した方法により企業等における献血組織の育成を図る。

イ 血液センターは、企業等に対して「献血セミナー」を実施し、正しい知識の普及啓発等を図る。

ウ 血液センターは、企業等における献血に際し、特に若年層の労働者の献血促進について協力を求める。

(3) 複数回献血の推進

献血者が減少する時期などに効率的に血液を確保するため、複数回献血者が若年層を含む幅広い層に拡大するよう、キャンペーンを実施するとともに、血液センターは情報誌の発行等各種サービスの提供を行うなど、複数回献血者の組織化を図る。

(4) 献血推進キャンペーン等の実施

ア 7月の「愛の血液助け合い運動」及び1月から2月までの「はたちの献血キャンペーン」を協力団体の後援のもとに実施する。

イ 啓発資材及びリーフレットを作成し、関係機関等に配布する。また、テレビ、SNSを含むインターネット、ポスター等の各広報媒体を効果的に活用し、献血や血液製剤に関する理解と協力を呼びかける。その際、ポスター等についてはインターネット上の情報にアクセスしやすい工夫をする。

2 献血運動推進大会の開催

県民に献血に対する理解と協力を求め、献血運動を一層推進するために、7月に愛知県献血運動推進大会を開催し、献血運動の推進に積極的に協力し、他の模範となる実績を示した個人又は団体に知事感謝状を贈呈する。

3 地区献血推進協議会の設置及び活用

地区献血推進協議会は、地域における献血推進の中核的役割を果たすことが期待されることから、県及び市町村は、地域の実情に応じて地区献血推進協議会の設置を推進するとともに、その活用を図る。

4 献血推進組織等の育成

(1) 市町村の担当職員及び献血協力団体等の構成員等を対象とした研修会を開催し、献血に関する知識・意識の向上を図る。

(2) 県及び市町村は、地域の献血ボランティア団体の組織化及び活動等に対し率先してその支援を行う。

第5 献血の推進に際し、特に配慮すべき事項

- 1 県、市町村及び血液センターは、県民の理解と協力を得ることができるよう、血液事業に係る施策の策定及び実施に当たり、献血の実態、血液製剤の安全性や供給の状況等についての情報を公開する。
- 2 血液センターは、献血者の本人確認及び問診の徹底、HIV 等の感染症の検査を目的とした献血を防止するための措置等、献血者の善意の協力を得て、血液製剤の安全性を向上させるための対策を推進する。
- 3 血液センターは、献血者が利用しやすい受入時間の設定等、献血者の利便性に配慮しつつ、献血の受入に当たっては献血申込者に不快の念を与えないよう、丁寧な処遇をすることに特に留意し、献血者の要望を把握するとともに、採血後の休憩スペースの十分な確保等、献血者に安心・安らぎを与える環境作りを図り、献血受入体制の一層の整備及び充実に努める。

また、献血者の個人情報保護するとともに、国の適切な関与の下で献血による健康被害に対する補償のための措置を実施する。

特に初回献血者が抱えている不安等を軽減するため、採血の手順や採血後に十分な休憩をとる必要性、気分が悪くなった場合の対処方法等について、事前説明を十分に行い、献血者の安全確保を図る。

- 4 血液センターは、献血者の利便性に配慮しつつ、安全で安心かつ効率的に採血を行う必要がある。このため、立地条件等を考慮した採血所の設置、地域の実情に応じた献血受入時間帯の設定及び移動採血車による計画的採血、企業や団体等の意向を踏まえた集団献血の実施、子育て世代に対応した託児スペースの整備、ICT を活用した WEB 予約の推進等に積極的に取り組む。
- 5 血液センターは、採血に際して献血者の健康管理に資する検査を行い、献血者の希望を確認してその結果を通知する。また、血色素検査により低血色素で献血ができなかった者に対して保健師等による健康相談を実施し、献血者の増加を図る。
- 6 血液センターは、初回献血者や献血に不安がある方に対しては、採血区分（200mL 全血採血、400mL 全血採血又は成分採血）や採血基準を満たしていれば、いずれの採血も安全であることについて十分な説明を行い、献血者の意思を可能な限り尊重した上で、採血区分を決定する（なお、血液センターが献血者に対し、医療現場において需要の高い 400mL 全血採血及び成分採血への協力を求めることは可能である）。

第6 その他献血の推進に関する重要事項等

1 献血推進施策の進捗状況等の確認・評価

- (1) 県は、献血受入実績について定期的に血液センターに確認し、市町村に情報を提供する。
- (2) 県及び市町村は、献血推進施策の進捗状況についての評価を行い、県は必要に応じて献血推進施策の見直しを行う。

2 輸血用血液製剤の在庫水準の常時把握と不足時の的確な対応

- (1) 県及び血液センターは、赤血球製剤等の在庫水準を常時把握し、在庫が不足する場合又は不足が予測される場合には、供給に支障を来す危険性を勘案し、国の献血推進本部設置要綱（平成 17 年 4 月 1 日決定）及び血液センターが策定した対応マニュアルに基づき所要の対策を講ずる。
- (2) 県は、血液製剤の供給に支障を来たさないよう、必要に応じて献血推進対策本部会議を開催し、血液確保対策の推進を図る。

3 災害時等における献血の確保等

- (1) 県は愛知県地域防災計画に基づき、災害時における血液製剤の確保に必要な対策を講ずる。
- (2) 県及び市町村は、血液センターと連携して災害時等における医療需要に応じた必要な血液が確保されるよう、様々な媒体を活用し、献血への協力を呼びかける。その際、血液センターは、被害状況等の情報収集を行ったうえで、献血の受入れの可否について判断するなど、献血者の安全に十分配慮する。
- (3) 血液センターは、あらかじめ災害時等に備えて、関係者との通信手段の確保、広域的な需要調整の対応を含む事業継続計画を定める。
- (4) 採血事業は、医療体制の維持に不可欠なものであることを踏まえ、血液センターは、新興・再興感染症のまん延下の状況であっても、医療需要に応じた血液製剤の安定供給を図るため、安心・安全な献血環境の保持と献血者への感染防止を十分に行うとともに、献血者へ感染症対策についての情報発信を適切に行う。
- (5) 県及び市町村は、血液センターの取組を支援する。

4 血液製剤の適正使用の推進

県は血液センターの協力のもと、合同輸血療法委員会を開催し、血液製剤の適正使用や輸血療法の実施等に関する指針について医療機関に情報提供を行う。

5 その他

本推進計画に定めるもののほか、県は、献血の推進に関する重要事項について、血液センター、市町村及び関係機関等と協議のうえ、必要に応じて献血推進協議会の意見を踏まえて定めるものとする。

別 表

令和6年度市町村別献血目標

	献血目標量 (単位)	200mL 献血 (人) 2.3%	400mL 献血 (人) 60.9%	血漿 成分献血(人) 24.9%	血小板 成分献血(人) 11.9%	献血目標者数 (人)	(参考) 令和2～令和4年度 配車実績合計(回)
愛知県	1,053,120	6,610	174,730	71,370	34,020	286,730	7,798
移動採血	178,761	3,319	87,721	0	0	91,040	7,798
名古屋市	44,249	819	21,715	—	—	22,534	1,930
豊橋市	9,904	184	4,860	—	—	5,044	432
岡崎市	8,045	149	3,948	—	—	4,097	351
一宮市	7,564	140	3,712	—	—	3,852	330
豊田市	7,954	148	3,903	—	—	4,051	347
県保健所管内	101,045	1,879	49,583	—	—	51,462	4,408
瀬戸保健所	8,710	162	4,274	—	—	4,436	380
瀬戸市	2,040	38	1,001	—	—	1,039	89
尾張旭市	1,306	24	641	—	—	665	57
豊明市	459	9	225	—	—	234	20
日進市	1,926	36	945	—	—	981	84
長久手市	1,856	34	911	—	—	945	81
東郷町	1,123	21	551	—	—	572	49
春日井保健所	10,660	198	5,231	—	—	5,429	465
春日井市	4,379	81	2,149	—	—	2,230	191
小牧市	6,281	117	3,082	—	—	3,199	274
江南保健所	6,739	125	3,307	—	—	3,432	294
犬山市	1,306	24	641	—	—	665	57
江南市	1,581	29	776	—	—	805	69
岩倉市	734	14	360	—	—	374	32
大口町	2,087	39	1,024	—	—	1,063	91
扶桑町	1,031	19	506	—	—	525	45
清須保健所	9,560	178	4,691	—	—	4,869	417
稲沢市	4,930	92	2,419	—	—	2,511	215
清須市	1,170	22	574	—	—	596	51
北名古屋市	595	11	292	—	—	303	26
豊山町	2,865	53	1,406	—	—	1,459	125
津島保健所	6,234	116	3,059	—	—	3,175	272
津島市	1,215	23	596	—	—	619	53
愛西市	962	18	472	—	—	490	42
弥富市	1,673	31	821	—	—	852	73
あま市	619	11	304	—	—	315	27
大治町	528	10	259	—	—	269	23
蟹江町	756	14	371	—	—	385	33
飛島村	481	9	236	—	—	245	21

	献血目標量 (単位)	200mL献血 (人) 2.3%	400mL献血 (人) 60.9%	血漿 成分献血(人) 24.9%	血小板 成分献血(人) 11.9%	献血目標者数 (人)	(参考) 令和2～令和4年度 配車実績合計(回)
半田保健所	8,710	162	4,274	—	—	4,436	380
半田市	3,646	68	1,789	—	—	1,857	159
阿久比町	778	14	382	—	—	396	34
東浦町	2,476	46	1,215	—	—	1,261	108
南知多町	298	6	146	—	—	152	13
美浜町	687	13	337	—	—	350	30
武豊町	825	15	405	—	—	420	36
知多保健所	13,548	252	6,648	—	—	6,900	591
常滑市	3,691	69	1,811	—	—	1,880	161
東海市	2,957	55	1,451	—	—	1,506	129
大府市	5,480	102	2,689	—	—	2,791	239
知多市	1,420	26	697	—	—	723	62
衣浦東部保健所	14,648	272	7,188	—	—	7,460	639
碧南市	803	15	394	—	—	409	35
刈谷市	2,568	48	1,260	—	—	1,308	112
安城市	5,180	96	2,542	—	—	2,638	226
知立市	939	17	461	—	—	478	41
高浜市	870	16	427	—	—	443	38
みよし市	4,288	80	2,104	—	—	2,184	187
西尾保健所	5,272	98	2,587	—	—	2,685	230
西尾市	3,988	74	1,957	—	—	2,031	174
幸田町	1,284	24	630	—	—	654	56
新城保健所	2,841	53	1,394	—	—	1,447	124
新城市	2,315	43	1,136	—	—	1,179	101
設楽町	275	5	135	—	—	140	12
東栄町	137	3	67	—	—	70	6
豊根村	114	2	56	—	—	58	5
豊川保健所	14,123	263	6,930	—	—	7,193	616
豊川市	9,857	183	4,837	—	—	5,020	430
蒲郡市	2,454	46	1,204	—	—	1,250	107
田原市	1,812	34	889	—	—	923	79
固定施設	874,359	3,291	87,009	71,370	34,020	195,690	—

- * 献血目標量の単位は、200mL献血を1単位、400mL献血を2単位、血漿成分献血を5単位、血小板成分献血を10単位として計算している。
- * 200mL及び400mL献血については、過去3か年(令和2年度～令和4年度)の市町村別配車実績をもとに市町村別献血目標を算出した。
- * 成分献血については、原則として献血ルーム・血液センターで採血することとし、市町村別献血目標の対象としない。

血液事業の現状について

1 年度別献血目標及び達成状況（愛知県）

年度	単位		献血者数 合計(人)	内訳(人)				
				200mL献血 構成比	400mL献血 構成比	成分献血 構成比	(うち血漿)	(うち血小板)
R2	目標	1,017,350	278,350	6,400	170,600	101,350	68,750	32,600
	実績	1,058,734	286,118	7,510 2.6%	170,767 59.7%	107,841 37.7%	73,744	34,097
	達成率	104.1%	102.8%	117.3%	100.1%	106.4%		
R3	目標	1,082,940	285,900	5,060	169,740	111,100	74,520	36,580
	実績	1,123,616	292,732	6,192 2.1%	169,032 57.7%	117,508 40.1%	79,981	37,527
	達成率	103.8%	102.4%	122.4%	99.6%	105.8%		
R4	目標	1,136,320	297,970	5,430	171,570	120,970	84,390	36,580
	実績	1,130,098	298,290	7,320 2.5%	171,444 57.5%	119,526 40.1%	83,074	36,452
	達成率	99.5%	100.1%	134.8%	99.9%	98.8%		
R5	目標	1,063,920	286,070	5,300	174,310	106,460	70,920	35,540
	実績	1,100,789	294,482	6,966 2.4%	173,369 58.9%	114,147 38.8%	78,877	35,270
	達成率	103.5%	102.9%	131.4%	99.5%	107.2%		
R6	目標	1,053,120	286,730	6,610	174,730	105,390	71,370	34,020
	* 実績	815,607	218,661	5,793 2.6%	129,452 59.2%	83,416 38.1%	56,650	26,766
	達成率	77.4%	76.3%	87.6%	74.1%	79.1%		

* 令和6年度については、令和6年12月末までの実績(速報値)及び達成率である。

【単位の換算方法】

献血目標の単位の換算方法は、200mL献血を1単位、400mL献血を2単位、成分献血のうち血漿成分献血(PPP)を5単位、血小板成分献血(PC)を10単位とした。

令和6年度 保健所・市町村別 献血実績（4月～12月）

	献血目標 (人)	合計	実績（人）				参考
			200mL献血	400mL献血	成分 （血漿）	成分 （血小板）	12月現在 達成率 （％）
愛知県	286,730	218,661	5,793	129,452	56,650	26,766	76.3
移動採血	91,040	68,996	2,813	66,183	—	—	75.8
名古屋市	22,534	14,814	598	14,216	—	—	65.7
豊橋市	5,044	3,418	361	3,057	—	—	67.8
岡崎市	4,097	2,457	256	2,201	—	—	60.0
一宮市	3,852	3,939	48	3,891	—	—	102.3
豊田市	4,051	3,712	103	3,609	—	—	91.6
県保健所管内	51,462	40,656	1,447	39,209	—	—	79.0
瀬戸保健所	4,436	3,043	199	2,844	—	—	68.6
瀬戸市	1,039	428	19	409	—	—	41.2
尾張旭市	665	468	23	445	—	—	70.4
豊明市	234	382	29	353	—	—	163.2
日進市	981	763	47	716	—	—	77.8
長久手市	945	767	74	693	—	—	81.2
東郷町	572	235	7	228	—	—	41.1
春日井保健所	5,429	5,143	142	5,001	—	—	94.7
春日井市	2,230	2,045	75	1,970	—	—	91.7
小牧市	3,199	3,098	67	3,031	—	—	96.8
江南保健所	3,432	2,778	73	2,705	—	—	80.9
犬山市	665	615	25	590	—	—	92.5
江南市	805	630	5	625	—	—	78.3
岩倉市	374	305	2	303	—	—	81.6
大口町	1,063	687	21	666	—	—	64.6
扶桑町	525	541	20	521	—	—	103.0
清須保健所	4,869	3,573	67	3,506	—	—	73.4
稲沢市	2,511	1,822	25	1,797	—	—	72.6
清須市	596	369	14	355	—	—	61.9
北名古屋市	303	180	4	176	—	—	59.4
豊山町	1,459	1,202	24	1,178	—	—	82.4
津島保健所	3,175	2,077	49	2,028	—	—	65.4
津島市	619	309	7	302	—	—	49.9
愛西市	490	284	2	282	—	—	58.0
弥富市	852	710	21	689	—	—	83.3
あま市	315	280	9	271	—	—	88.9
大治町	269	151	8	143	—	—	56.1
蟹江町	385	234	1	233	—	—	60.8
飛島村	245	109	1	108	—	—	44.5

令和6年度 保健所・市町村別 献血実績（4月～12月）

	献血目標 (人)	合計	実績（人）				参考 12月現在 達成率 (%)
			200mL献血	400mL献血	成分 (血漿)	成分 (血小板)	
半田保健所	4,436	4,169	61	4,108	-	-	94.0
半田市	1,857	1,797	29	1,768	-	-	96.8
阿久比町	396	471	4	467	-	-	118.9
東浦町	1,261	1,052	9	1,043	-	-	83.4
南知多町	152	135	0	135	-	-	88.8
美浜町	350	302	8	294	-	-	86.3
武豊町	420	412	11	401	-	-	98.1
知多保健所	6,900	5,294	137	5,157	-	-	76.7
常滑市	1,880	1,435	18	1,417	-	-	76.3
東海市	1,506	1,338	34	1,304	-	-	88.8
大府市	2,791	1,728	58	1,670	-	-	61.9
知多市	723	793	27	766	-	-	109.7
衣浦東部保健所	7,460	6,567	174	6,393	-	-	88.0
碧南市	409	725	20	705	-	-	177.3
刈谷市	1,308	1,402	54	1,348	-	-	107.2
安城市	2,638	2,096	62	2,034	-	-	79.5
知立市	478	408	12	396	-	-	85.4
高浜市	443	342	8	334	-	-	77.2
みよし市	2,184	1,594	18	1,576	-	-	73.0
西尾保健所	2,685	2,642	150	2,492	-	-	98.4
西尾市	2,031	2,188	120	2,068	-	-	107.7
幸田町	654	454	30	424	-	-	69.4
新城保健所	1,447	574	43	531	-	-	39.7
新城市	1,179	507	36	471	-	-	43.0
設楽町	140	36	3	33	-	-	25.7
東栄町	70	18	1	17	-	-	25.7
豊根村	58	13	3	10	-	-	22.4
豊川保健所	7,193	4,796	352	4,444	-	-	66.7
豊川市	5,020	3,213	240	2,973	-	-	64.0
蒲郡市	1,250	1,073	83	990	-	-	85.8
田原市	923	510	29	481	-	-	55.3
母体・ルーム計	195,690	149,665	2,980	63,269	56,650	26,766	76.5

【参考】年度当初からの経過月数／12か月（％） 75.0

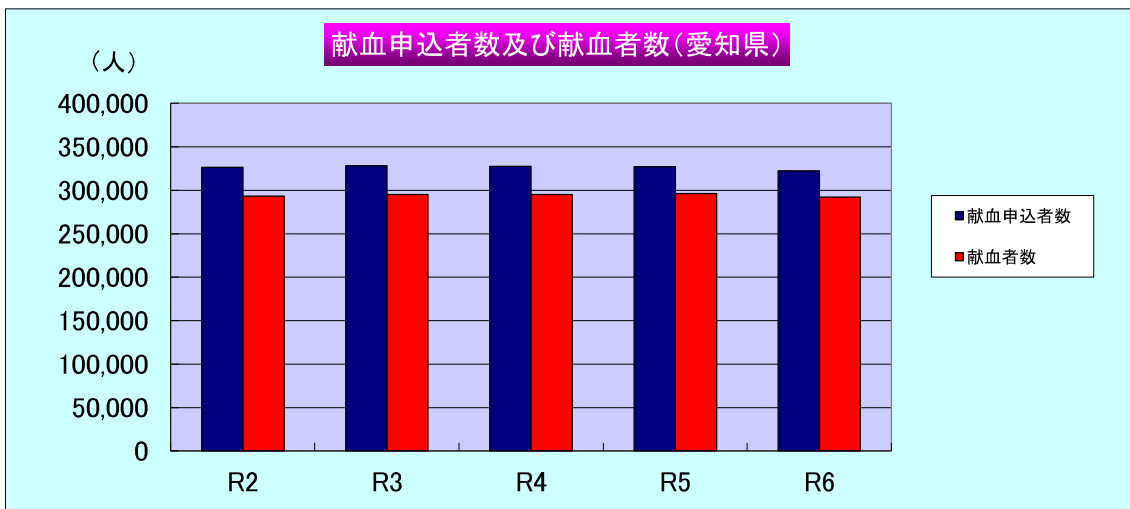
2 年次別の状況 (ただし令和6年の数値は全て速報値)

2-1 献血の状況

愛知県

令和6年の献血者数は292,367人で、前年より3,775人減少した。

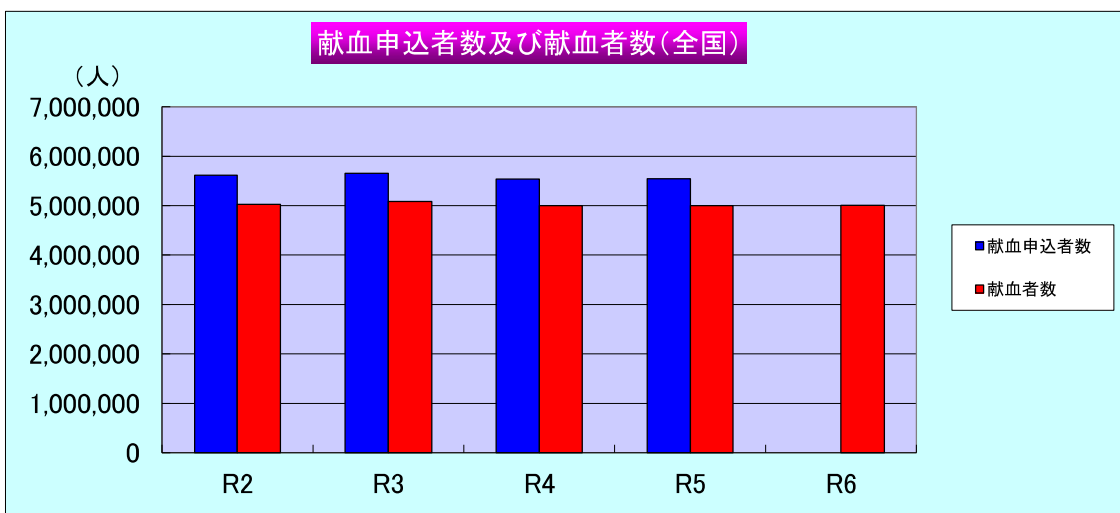
年	献血申込者数 (人)	対前年比 (%)	献血者数 (人)	対前年比 (%)	不採血者数 (人)	申込者に対する割合(%)
R2	326,542	97.7%	293,317	98.2%	33,225	10.2%
R3	328,290	100.5%	295,039	100.6%	33,251	10.1%
R4	327,371	99.7%	295,304	100.1%	32,067	9.8%
R5	327,110	99.9%	296,142	100.3%	30,968	9.5%
R6	322,297	98.5%	292,367	98.7%	29,930	9.3%



全国

年	献血申込者数 (人)	対前年比 (%)	献血者数 (人)	対前年比 (%)	不採血者数 (人)	申込者に対する割合(%)
R2	5,616,871	98.0%	5,024,859	98.6%	592,012	10.5%
R3	5,655,743	100.7%	5,086,003	101.2%	569,740	10.1%
R4	5,536,737	97.9%	4,994,576	98.2%	542,161	9.8%
R5	5,539,807	100.1%	5,003,723	100.2%	536,084	9.7%
R6			5,013,064	100.2%		

*令和6年は速報値で、献血申込者数と不採血者数は未集計

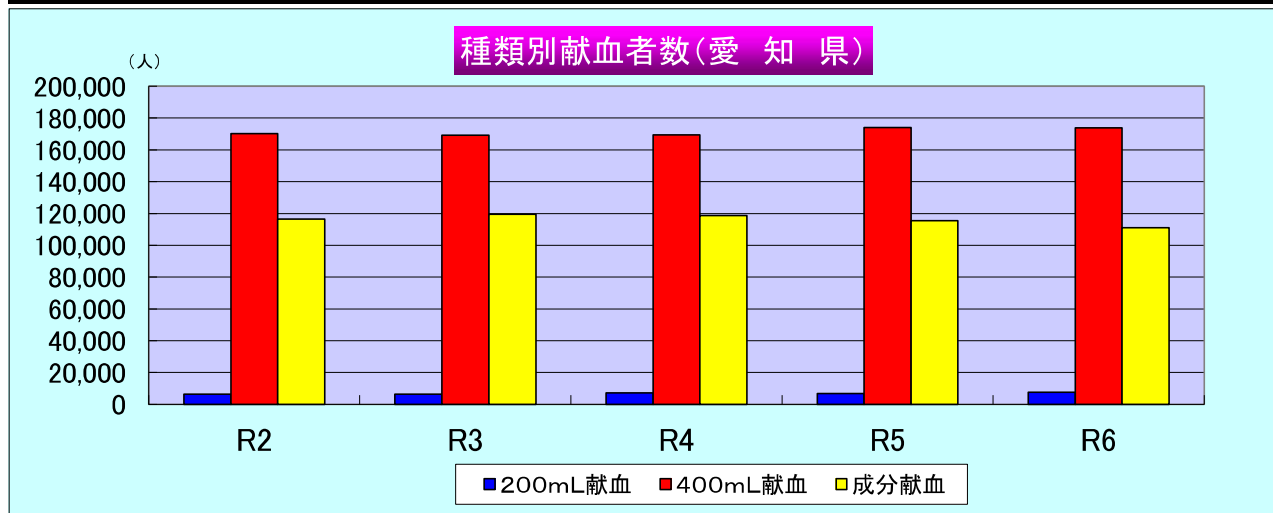


2-2 献血種類別献血者数

愛知県

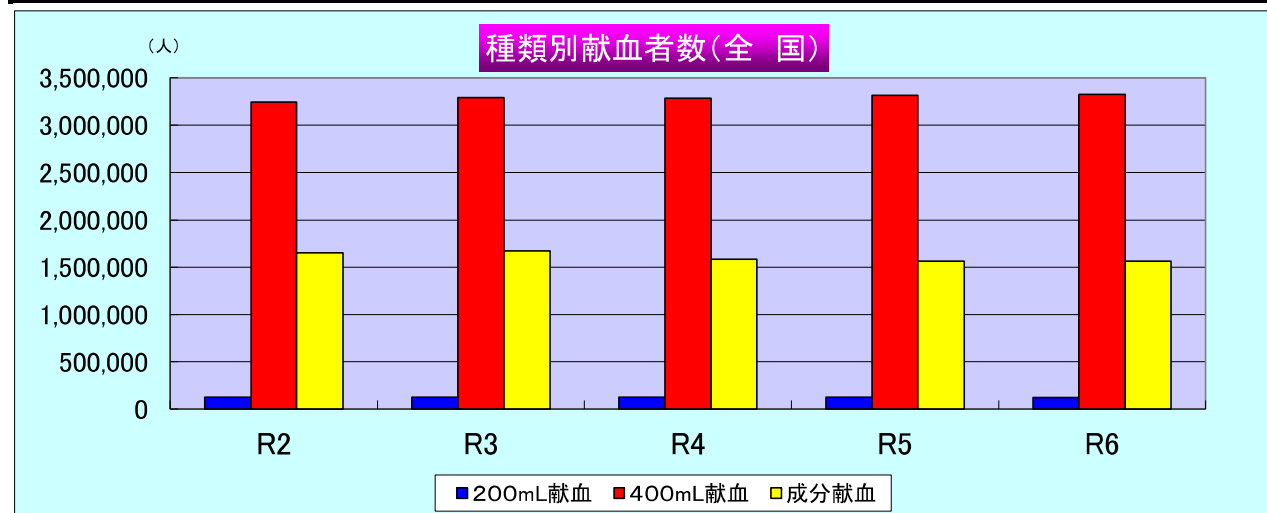
令和6年の献血種類別においては、前年と比較して、200mLは681人増加、400mLは117人減少、成分献血は4,339人減少であった。

年	200mL献血			400mL献血			成分献血		
	献血者数 (人)	対前年比 (%)	構成比 (%)	献血者数 (人)	対前年比 (%)	構成比 (%)	献血者数 (人)	対前年比 (%)	構成比 (%)
R2	6,466	98.7%	2.2%	170,245	98.9%	58.0%	116,606	96.9%	39.8%
R3	6,451	99.8%	2.2%	169,249	99.4%	57.4%	119,339	102.3%	40.4%
R4	7,194	111.5%	2.4%	169,370	100.1%	57.4%	118,740	99.5%	40.2%
R5	6,937	96.4%	2.3%	173,914	102.7%	58.7%	115,291	97.1%	38.9%
R6	7,618	109.8%	2.6%	173,797	99.9%	59.4%	110,952	96.2%	37.9%



全国

年	200mL献血			400mL献血			成分献血		
	献血者数 (人)	対前年比 (%)	構成比 (%)	献血者数 (人)	対前年比 (%)	構成比 (%)	献血者数 (人)	対前年比 (%)	構成比 (%)
R2	125,292	101.0%	2.5%	3,246,842	98.6%	64.6%	1,652,725	98.2%	32.9%
R3	126,519	101.0%	2.5%	3,289,481	101.3%	64.7%	1,670,003	101.0%	32.8%
R4	125,289	99.0%	2.5%	3,285,538	99.9%	65.8%	1,583,749	94.8%	31.7%
R5	127,302	101.6%	2.5%	3,313,509	100.9%	66.2%	1,562,912	98.7%	31.2%
R6	123,637	97.1%	2.5%	3,326,147	100.4%	66.3%	1,563,280	100.0%	31.2%

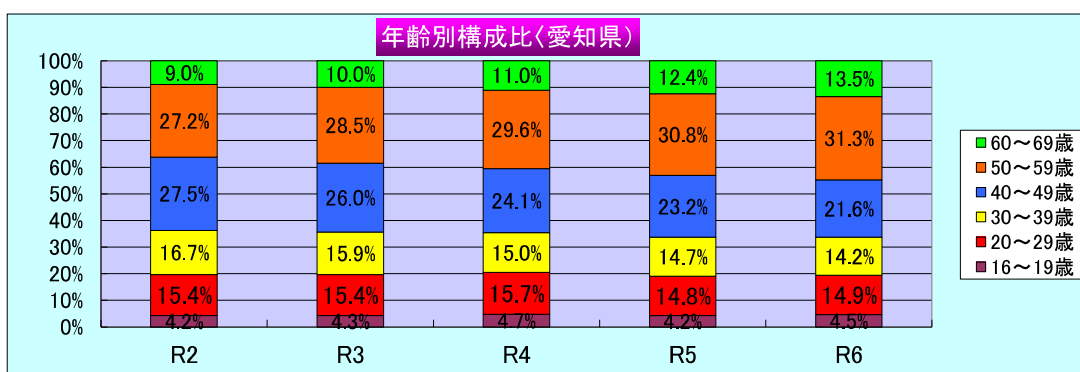


2-3 年齢別献血状況

愛知県

- ・令和6年の献血者数は、50代が最も多い。
 - ・令和6年の献血者数を前年と比較すると、20代から40代までが減少したが、10代・50代以上の年代では増加した。
 - ・令和6年の献血率は、50代が最も高かった。
- (献血率は各年の4月1日(令和6年は10月1日)時点の人口を基に算出を行っている。)

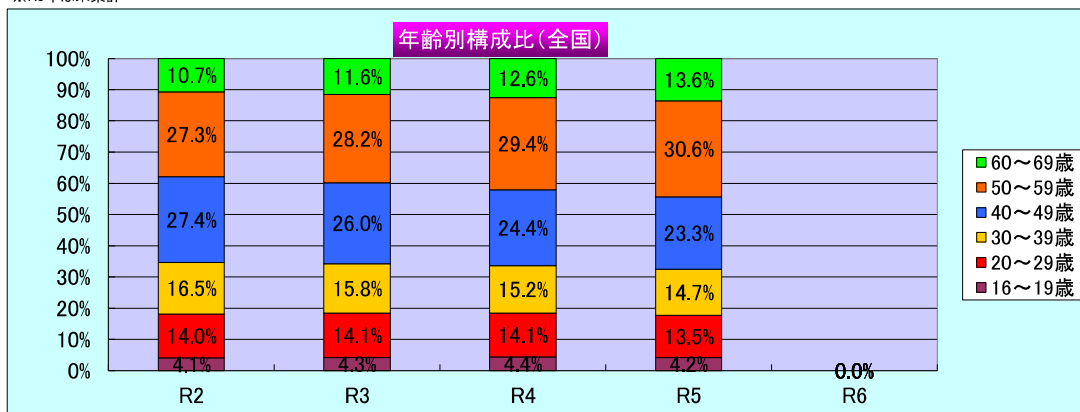
	16～19歳				20～29歳				30～39歳			
	献血者数	対前年比	構成比	献血率	献血者数	対前年比	構成比	献血率	献血者数	対前年比	構成比	献血率
R2	12,364	101.2%	4.2%	4.2%	45,301	90.0%	15.4%	5.4%	48,907	86.1%	16.7%	5.4%
R3	12,556	101.6%	4.3%	4.4%	45,327	100.1%	15.4%	5.4%	47,005	96.1%	15.9%	5.4%
R4	13,897	110.7%	4.7%	4.9%	46,292	102.1%	15.7%	5.5%	44,265	94.2%	15.0%	5.0%
R5	12,555	90.3%	4.2%	4.5%	43,719	94.4%	14.8%	5.2%	43,427	98.1%	14.7%	5.0%
R6	13,169	104.9%	4.5%	4.7%	43,587	99.7%	14.9%	5.2%	41,514	95.6%	14.2%	4.8%
	40～49歳				50～59歳				60～69歳			
	献血者数	対前年比	構成比	献血率	献血者数	対前年比	構成比	献血率	献血者数	対前年比	構成比	献血率
R2	80,558	97.0%	27.5%	7.1%	79,672	144.3%	27.2%	8.2%	26,515	143.9%	9.0%	3.2%
R3	76,592	95.1%	26.0%	6.9%	84,077	105.5%	28.5%	8.4%	29,482	111.2%	10.0%	3.7%
R4	71,042	92.8%	24.1%	6.6%	87,292	103.8%	29.6%	8.1%	32,516	110.3%	11.0%	4.0%
R5	68,558	96.5%	23.2%	6.6%	91,091	104.4%	30.8%	8.2%	36,792	113.2%	12.4%	4.6%
R6	63,128	92.1%	21.6%	6.9%	91,551	100.5%	31.3%	8.1%	39,418	107.1%	13.5%	4.8%



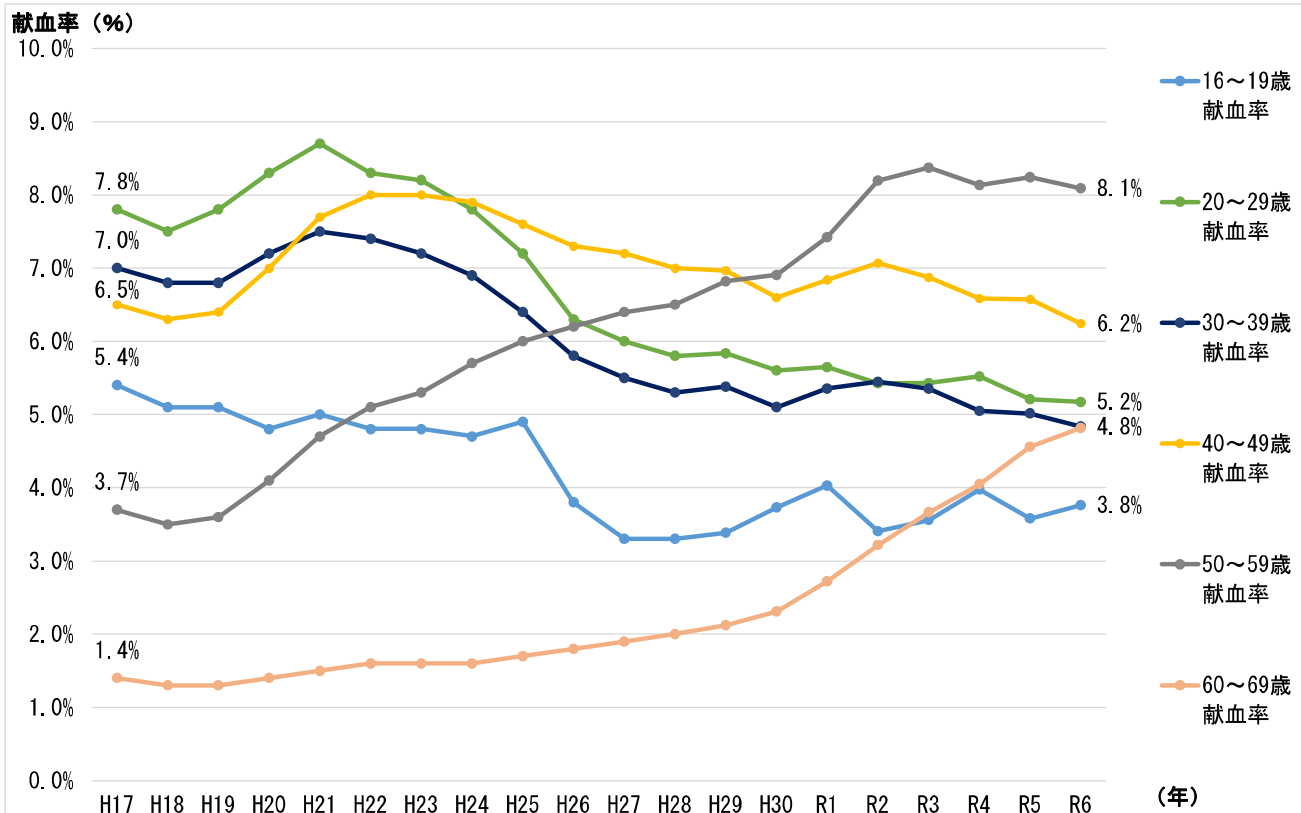
全国

	16～19歳				20～29歳				30～39歳			
	献血者数(人)	対前年比	構成比	献血率	献血者数(人)	対前年比	構成比	献血率	献血者数(人)	対前年比	構成比	献血率
R2	208,327	81.5%	4.1%	5.4%	702,613	88.9%	14.0%	5.6%	831,597	91.8%	16.5%	5.3%
R3	217,562	104.4%	4.3%	5.5%	719,060	102.3%	14.1%	5.6%	804,362	96.7%	15.8%	5.4%
R4	218,848	100.6%	4.4%	4.7%	702,499	97.7%	14.1%	5.6%	757,711	94.2%	15.2%	5.6%
R5	210,963	96.4%	4.2%	4.8%	676,593	96.3%	13.5%	5.5%	735,163	97.0%	14.7%	5.4%
R6												
	40～49歳				50～59歳				60～69歳			
	献血者数(人)	対前年比	構成比	献血率	献血者数(人)	対前年比	構成比	献血率	献血者数(人)	対前年比	構成比	献血率
R2	1,374,982	97.9%	27.4%	6.9%	1,370,647	128.4%	27.3%	7.2%	536,693	128.5%	10.7%	2.5%
R3	1,320,395	96.0%	26.0%	7.1%	1,436,638	104.8%	28.2%	7.7%	587,986	109.6%	11.6%	2.9%
R4	1,217,910	92.2%	24.4%	7.2%	1,470,661	102.4%	29.4%	8.5%	626,947	106.6%	12.6%	3.8%
R5	1,166,861	95.8%	23.3%	6.8%	1,532,974	104.2%	30.6%	9.3%	681,169	108.6%	13.6%	4.1%
R6												

※R6年は未集計



【愛知県】年代別献血率の推移



【愛知県】年代別献血率の推移

	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
16～19歳	5.4%	5.1%	5.1%	4.8%	5.0%	4.8%	4.8%	4.7%	4.9%	3.8%
20～29歳	7.8%	7.5%	7.8%	8.3%	8.7%	8.3%	8.2%	7.8%	7.2%	6.3%
30～39歳	7.0%	6.8%	6.8%	7.2%	7.5%	7.4%	7.2%	6.9%	6.4%	5.8%
40～49歳	6.5%	6.3%	6.4%	7.0%	7.7%	8.0%	8.0%	7.9%	7.6%	7.3%
50～59歳	3.7%	3.5%	3.6%	4.1%	4.7%	5.1%	5.3%	5.7%	6.0%	6.2%
60～69歳	1.4%	1.3%	1.3%	1.4%	1.5%	1.6%	1.6%	1.6%	1.7%	1.8%
	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
16～19歳	3.3%	3.3%	3.4%	3.7%	4.0%	3.4%	3.6%	4.0%	3.6%	3.8%
20～29歳	6.0%	5.8%	5.7%	5.5%	5.5%	5.4%	5.4%	5.5%	5.2%	5.2%
30～39歳	5.5%	5.3%	5.2%	4.9%	5.2%	5.4%	5.4%	5.0%	5.0%	4.8%
40～49歳	7.2%	7.0%	6.8%	6.5%	6.7%	7.1%	6.9%	6.6%	6.6%	6.2%
50～59歳	6.4%	6.5%	6.8%	6.9%	7.4%	8.2%	8.4%	8.1%	8.2%	8.1%
60～69歳	1.9%	2.0%	2.1%	2.3%	2.7%	3.2%	3.7%	4.0%	4.6%	4.8%

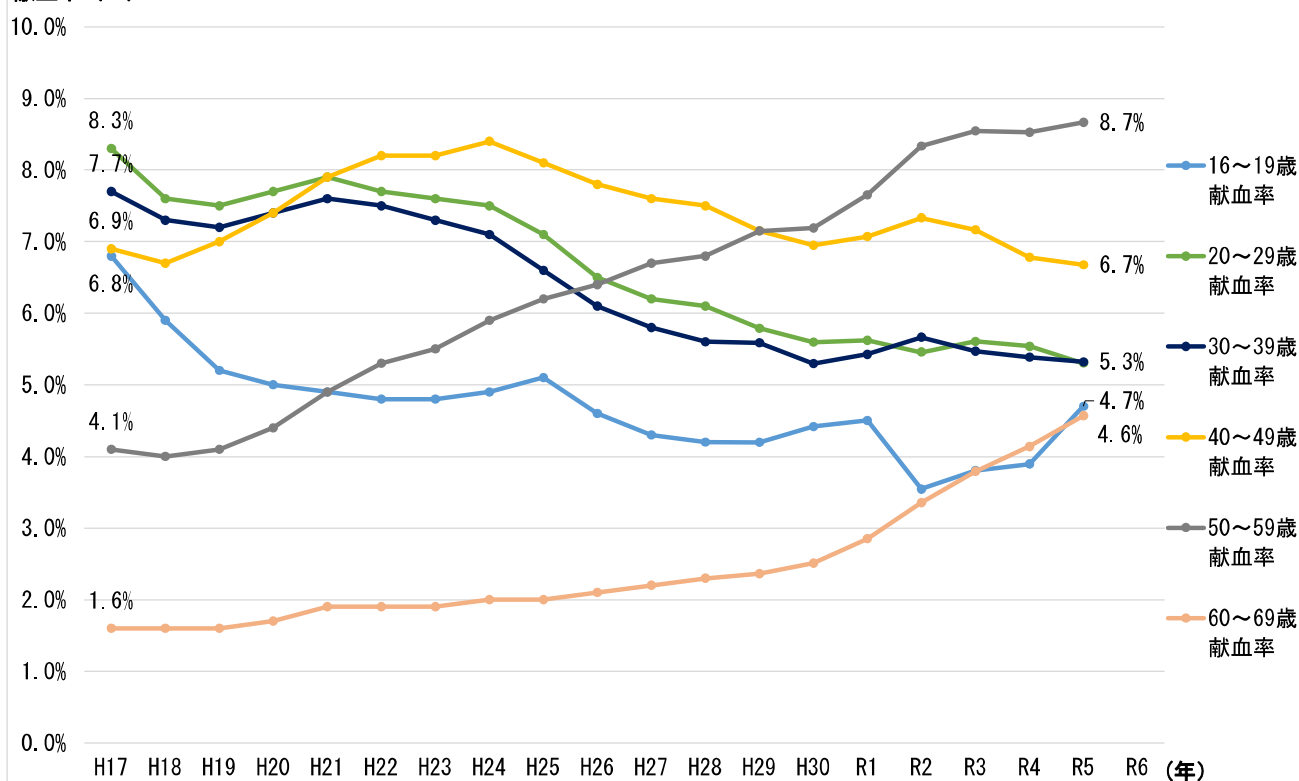
※「数値で見る血液事業」（日本赤十字社ホームページ）及び愛知県赤十字血液センター提供データよりグラフ作成。

※献血率は、人口（住民基本台帳人口要覧から抜粋）に対する献血者数の割合として算出。

※資料2-3「「年齢別献血状況」の献血率とは、人口の算出時点、方法が異なるため、一部数値が一致しない。

【全国】年代別献血率の推移

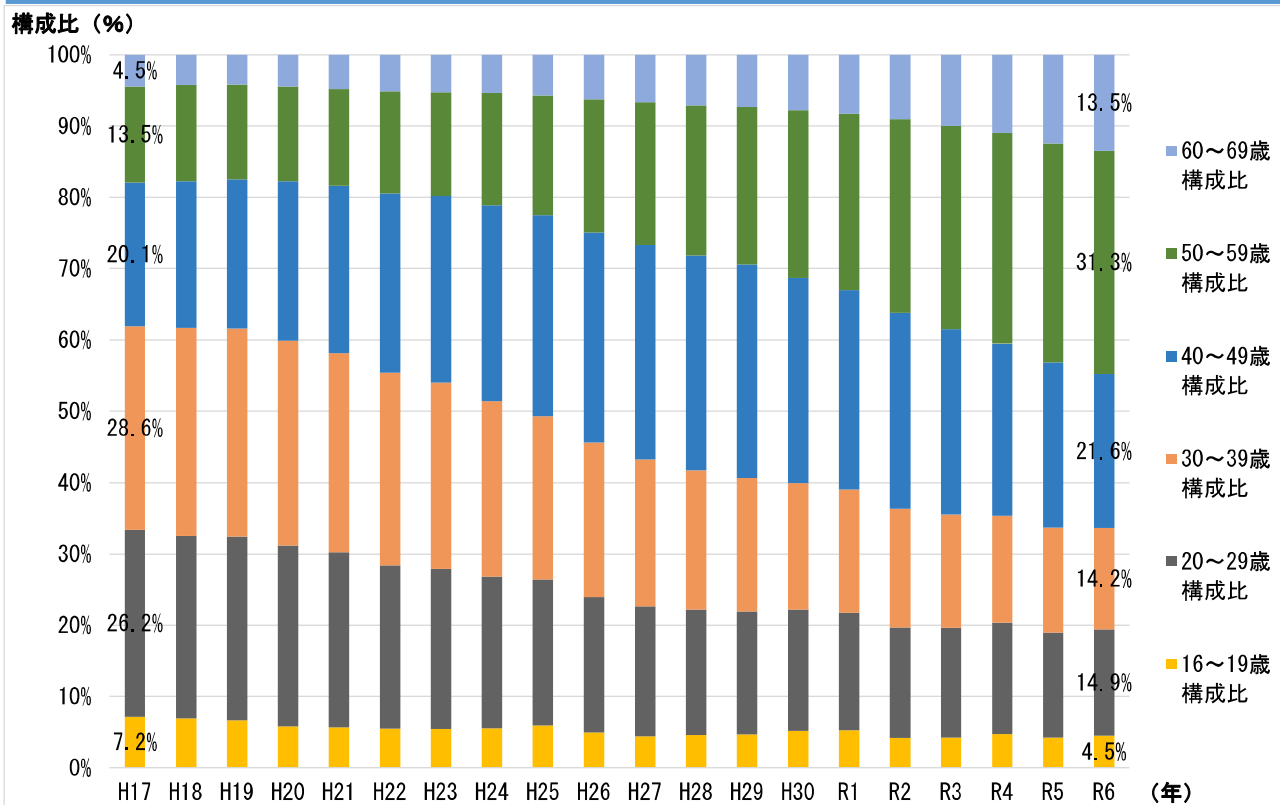
献血率（％）



【全国】年代別献血率の推移

	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
16～19歳	6.8%	5.9%	5.2%	5.0%	4.9%	4.8%	4.8%	4.9%	5.1%	4.6%
20～29歳	8.3%	7.6%	7.5%	7.7%	7.9%	7.7%	7.6%	7.5%	7.1%	6.5%
30～39歳	7.7%	7.3%	7.2%	7.4%	7.6%	7.5%	7.3%	7.1%	6.6%	6.1%
40～49歳	6.9%	6.7%	7.0%	7.4%	7.9%	8.2%	8.2%	8.4%	8.1%	7.8%
50～59歳	4.1%	4.0%	4.1%	4.4%	4.9%	5.3%	5.5%	5.9%	6.2%	6.4%
60～69歳	1.6%	1.6%	1.6%	1.7%	1.9%	1.9%	1.9%	2.0%	2.0%	2.1%
	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
16～19歳	4.3%	4.2%	4.2%	4.4%	4.5%	3.5%	3.8%	3.9%	4.7%	
20～29歳	6.2%	6.1%	5.8%	5.6%	5.6%	5.5%	5.6%	5.5%	5.3%	
30～39歳	5.8%	5.6%	5.5%	5.3%	5.4%	5.7%	5.5%	5.4%	5.3%	
40～49歳	7.6%	7.5%	7.2%	6.9%	7.1%	7.3%	7.2%	6.8%	6.7%	
50～59歳	6.7%	6.8%	7.1%	7.2%	7.7%	8.3%	8.5%	8.5%	8.7%	
60～69歳	2.2%	2.3%	2.4%	2.5%	2.9%	3.4%	3.8%	4.1%	4.6%	

【愛知県】年代別構成比の推移

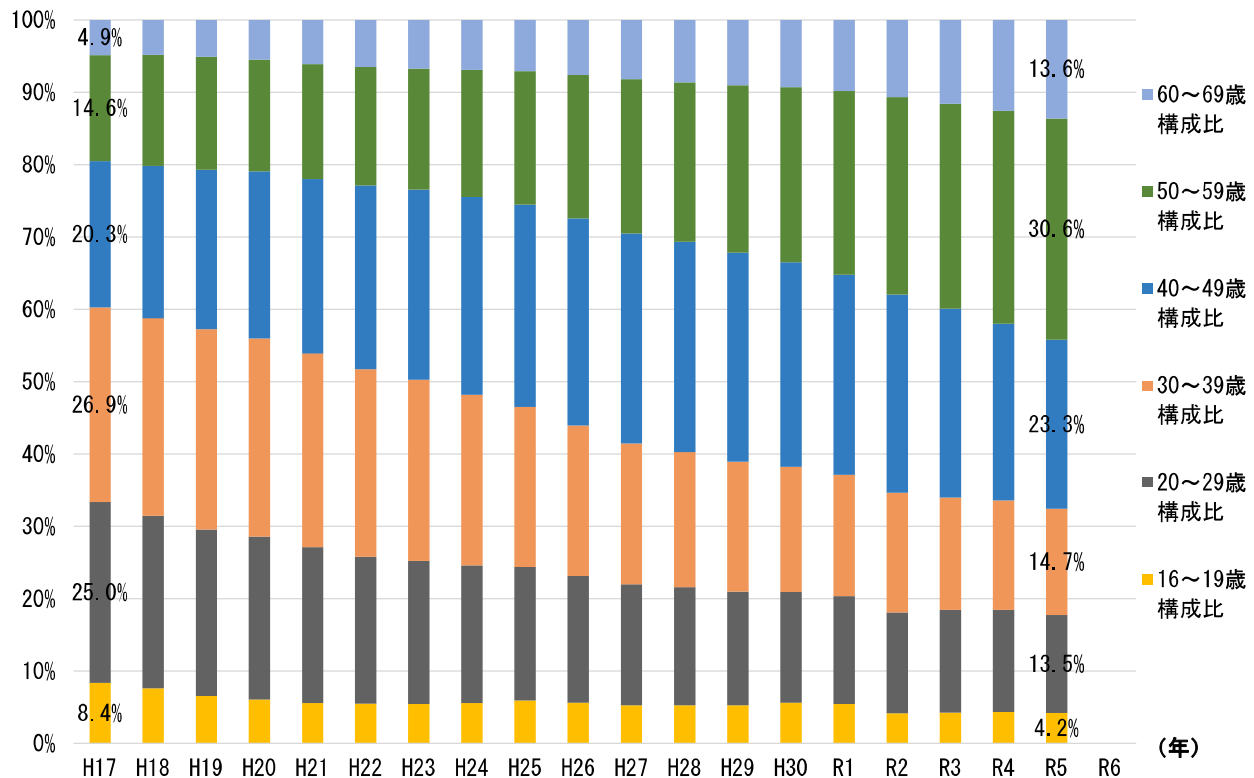


【愛知県】年代別構成比の推移

	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
16～19歳	7.2%	6.9%	6.6%	5.8%	5.7%	5.5%	5.5%	5.6%	5.9%	5.0%
20～29歳	26.2%	25.6%	25.8%	25.4%	24.6%	22.9%	22.4%	21.3%	20.5%	19.0%
30～39歳	28.6%	29.2%	29.2%	28.7%	27.9%	27.0%	26.1%	24.6%	22.9%	21.6%
40～49歳	20.1%	20.6%	20.9%	22.4%	23.4%	25.2%	26.2%	27.4%	28.2%	29.5%
50～59歳	13.5%	13.5%	13.3%	13.3%	13.6%	14.3%	14.6%	15.8%	16.8%	18.7%
60～69歳	4.5%	4.2%	4.2%	4.5%	4.8%	5.1%	5.3%	5.4%	5.7%	6.3%
	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
16～19歳	4.4%	4.6%	4.7%	5.2%	5.3%	4.2%	4.3%	4.7%	4.2%	4.5%
20～29歳	18.2%	17.6%	17.3%	17.0%	16.5%	15.4%	15.4%	15.7%	14.8%	14.9%
30～39歳	20.6%	19.5%	18.7%	17.7%	17.3%	16.7%	15.9%	15.0%	14.7%	14.2%
40～49歳	30.1%	30.1%	30.0%	28.8%	27.9%	27.5%	26.0%	24.1%	23.2%	21.6%
50～59歳	20.0%	21.1%	22.1%	23.6%	24.8%	27.2%	28.5%	29.6%	30.8%	31.3%
60～69歳	6.7%	7.1%	7.4%	7.7%	8.3%	9.0%	10.0%	11.0%	12.4%	13.5%

【全国】年代別構成比の推移

構成比 (%)

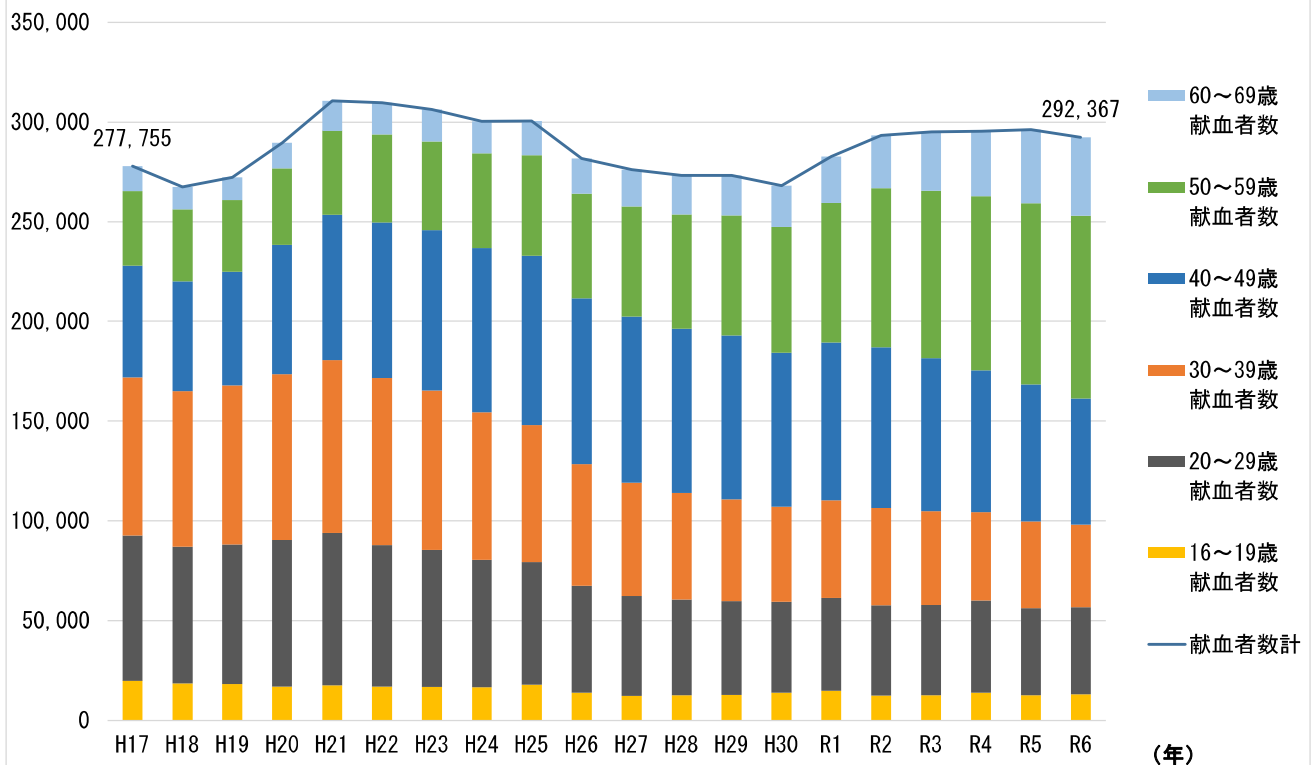


【全国】年代別構成比の推移

	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
16～19歳	8.4%	7.6%	6.6%	6.1%	5.6%	5.5%	5.5%	5.6%	5.9%	5.6%
20～29歳	25.0%	23.8%	23.0%	22.5%	21.6%	20.3%	19.7%	19.0%	18.5%	17.5%
30～39歳	26.9%	27.3%	27.7%	27.4%	26.8%	25.9%	25.1%	23.6%	22.1%	20.7%
40～49歳	20.3%	21.0%	22.0%	23.1%	24.1%	25.4%	26.3%	27.4%	28.0%	28.7%
50～59歳	14.6%	15.4%	15.6%	15.5%	15.9%	16.4%	16.7%	17.6%	18.4%	19.8%
60～69歳	4.9%	4.8%	5.1%	5.5%	6.1%	6.5%	6.7%	6.9%	7.1%	7.6%
	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
16～19歳	5.3%	5.3%	5.3%	5.6%	5.5%	4.1%	4.3%	4.4%	4.2%	
20～29歳	16.7%	16.3%	15.7%	15.3%	14.9%	14.0%	14.2%	14.1%	13.5%	
30～39歳	19.5%	18.7%	18.0%	17.3%	16.8%	16.5%	15.5%	15.2%	14.7%	
40～49歳	29.0%	29.0%	28.9%	28.2%	27.6%	27.4%	26.1%	24.4%	23.3%	
50～59歳	21.3%	22.1%	23.1%	24.2%	25.4%	27.3%	28.3%	29.4%	30.6%	
60～69歳	8.2%	8.6%	9.0%	9.3%	9.8%	10.3%	11.6%	12.6%	13.6%	

【愛知県】年代別献血者数の推移

献血者数（人）



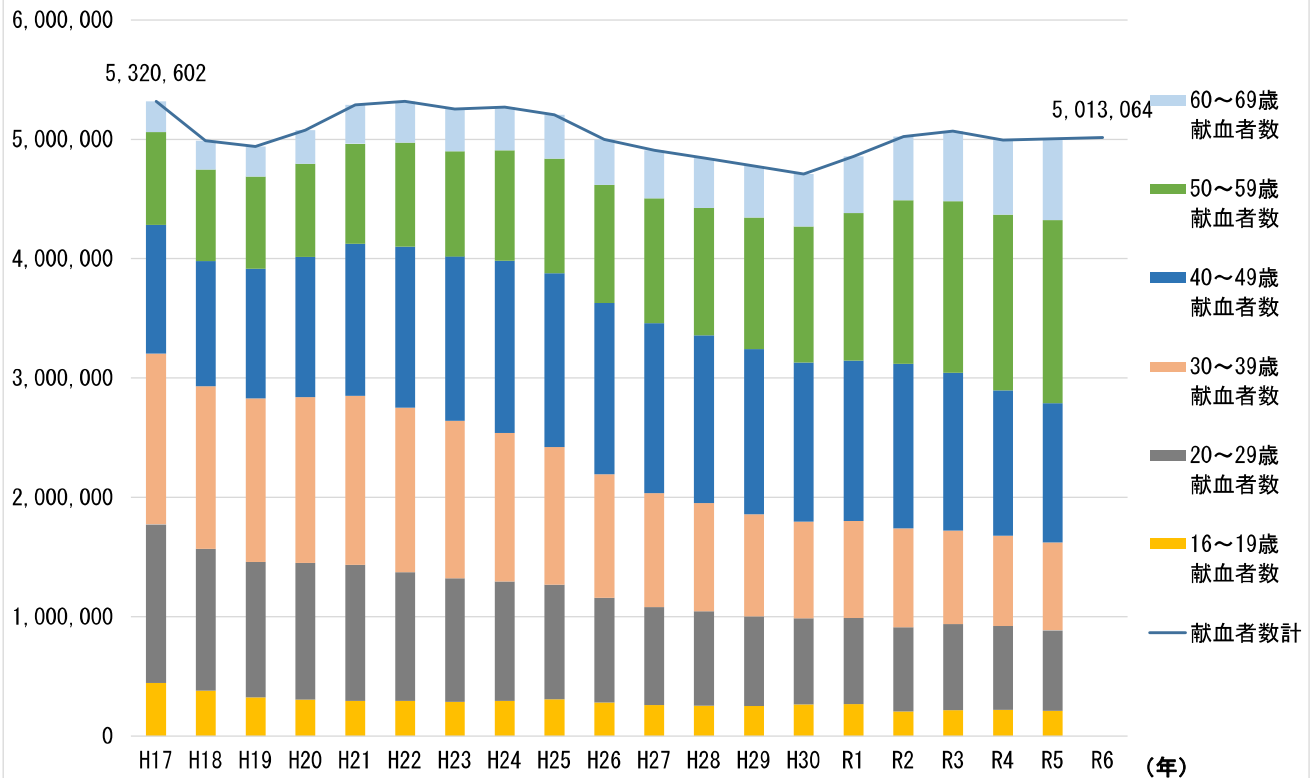
【愛知県】年代別献血者数の推移

（単位・人）

	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
16～19歳	19,899	18,560	18,102	16,868	17,626	17,026	16,759	16,718	17,804	13,965
20～29歳	72,774	68,443	70,197	73,468	76,349	70,931	68,729	63,840	61,556	53,565
30～39歳	79,327	78,035	79,511	83,203	86,695	83,482	79,888	73,871	68,753	60,970
40～49歳	55,861	54,978	56,968	64,763	72,843	78,057	80,255	82,412	84,788	83,056
50～59歳	37,499	36,145	36,165	38,455	42,137	44,257	44,592	47,377	50,408	52,621
60～69歳	12,395	11,344	11,440	12,993	14,985	15,931	16,101	16,168	17,210	17,662
計	277,755	267,505	272,383	289,750	310,635	309,684	306,324	300,386	300,519	281,839
	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
16～19歳	12,216	12,489	12,708	13,913	14,851	12,364	12,556	13,897	12,555	13,169
20～29歳	50,308	48,137	47,127	45,651	46,582	45,301	45,327	46,292	43,719	43,587
30～39歳	56,831	53,374	51,054	47,499	48,943	48,907	47,005	44,265	43,427	41,514
40～49歳	83,059	82,232	81,919	77,112	79,026	80,558	76,592	71,042	68,558	63,128
50～59歳	55,201	57,561	60,237	63,209	69,999	79,672	84,077	87,292	91,091	91,551
60～69歳	18,421	19,471	20,100	20,758	23,348	26,515	29,482	32,516	36,792	39,418
計	276,036	273,264	273,145	268,142	282,749	293,317	295,039	295,304	296,142	292,367

【全国】年代別献血者数の推移

献血者数（人）



【全国】年代別献血者数の推移

(単位・人)

	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
16～19歳	445,664	381,352	324,414	308,019	295,811	292,853	286,534	295,683	308,178	281,377
20～29歳	1,329,692	1,188,738	1,135,102	1,141,746	1,139,991	1,080,385	1,037,257	1,000,086	962,418	876,857
30～39歳	1,429,245	1,361,658	1,369,241	1,391,141	1,414,747	1,376,596	1,317,138	1,243,040	1,150,688	1,036,017
40～49歳	1,078,146	1,048,055	1,088,410	1,171,449	1,272,397	1,350,490	1,379,078	1,442,101	1,455,100	1,433,840
50～59歳	778,846	766,625	770,663	785,280	841,168	872,113	878,562	926,865	959,551	991,212
60～69歳	259,009	241,429	251,720	279,603	322,987	346,149	353,613	363,328	369,884	379,824
計	5,320,602	4,987,857	4,939,550	5,077,238	5,287,101	5,318,586	5,252,182	5,271,103	5,205,819	4,999,127
	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年
16～19歳	260,576	255,736	253,117	265,278	267,141	208,327	217,562	218,848	210,963	
20～29歳	819,922	790,337	749,599	720,710	722,484	702,613	719,060	702,499	676,593	
30～39歳	957,046	905,510	857,898	813,423	814,594	831,597	786,362	757,711	735,163	
40～49歳	1,422,146	1,404,777	1,379,281	1,329,273	1,342,411	1,374,982	1,320,395	1,217,910	1,166,861	
50～59歳	1,045,609	1,067,689	1,105,194	1,141,348	1,235,461	1,370,647	1,436,638	1,470,661	1,532,974	
60～69歳	403,857	417,552	430,559	437,919	477,162	536,693	587,986	626,947	681,169	
計	4,909,156	4,841,601	4,775,648	4,707,951	4,859,253	5,024,859	5,068,003	4,994,576	5,003,723	5,013,064

高校生献血者数の推移について

○ 全国における高校生献血者数の推移

年度	令和元	令和2	令和3	令和4	令和5
高校生献血者数(人)	121,268	105,541	103,019	102,703	99,834

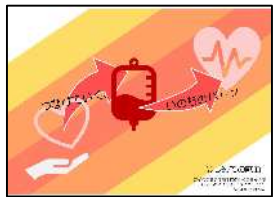
2,869 人減少

○ 愛知県における高校生献血者数の推移

年度	令和元	令和2	令和3	令和4	令和5
高校生献血者数(人)	6,209	5,648	5,374	6,043	5,789

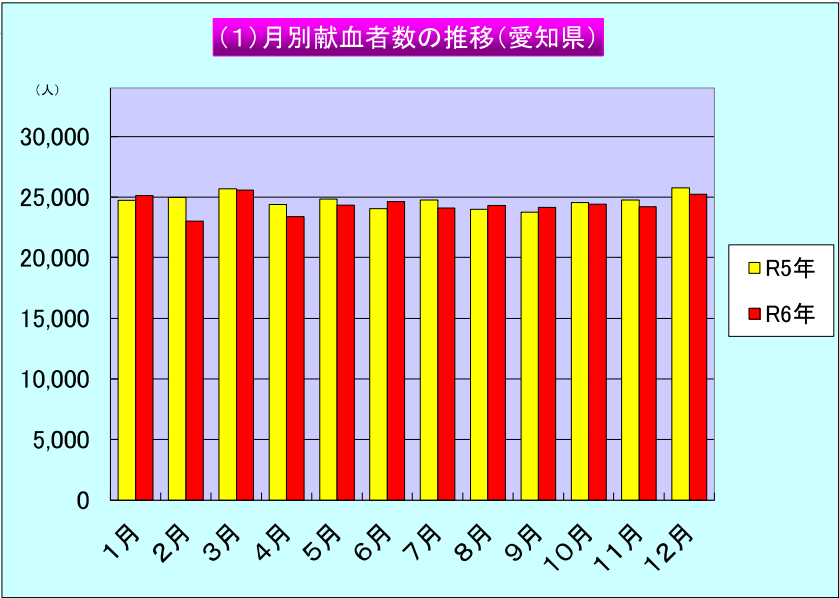
254 人減少

<若年者向け取組のリーフレット>

年度	キャンペーン名		
	10代夏の献血キャンペーン	卒業献血キャンペーン	はたちの献血キャンペーン
令和4			
令和5			
令和6			

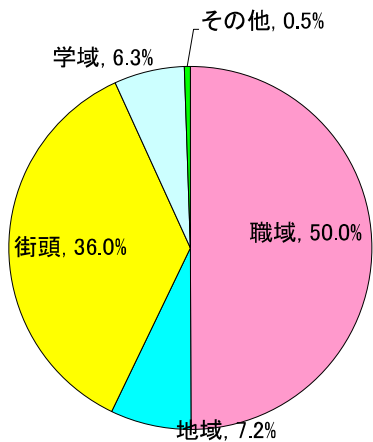
2-4 月別、移動採血、職業別献血者の状況

- ・令和6年の月別献血者数は、23,015人～25,571人で推移した。
- ・令和6年の移動採血における献血状況では、前年に比べ、地域や学域における献血者数が増加した。
- ・令和6年の職業別における献血状況では、会社員が最も多く、公務員、学生(高校生以外)の順になっており、前年と同様の傾向であった。



	R5年		R6年	
	申込者数	献血者数	申込者数	献血者数
1月	27,126	24,716	27,690	25,120
2月	27,390	24,981	25,365	23,015
3月	28,334	25,669	28,032	25,571
4月	27,016	24,379	26,021	23,381
5月	27,547	24,838	26,907	24,323
6月	26,576	24,037	27,312	24,620
7月	27,592	24,761	26,774	24,084
8月	26,606	23,976	26,984	24,296
9月	26,285	23,745	26,522	24,137
10月	27,110	24,520	26,968	24,404
11月	27,127	24,776	26,321	24,200
12月	28,401	25,744	27,401	25,216
合計	327,110	296,142	322,297	292,367

(2) 移動採血における献血状況(R6年)

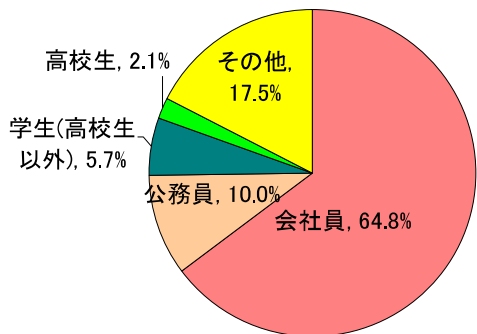


	申込者数	献血者数	比率
職域	51,032	45,740	50.0%
地域	7,342	6,571	7.2%
街頭	37,872	32,994	36.0%
学域	6,995	5,747	6.3%
その他	582	497	0.5%
合計	103,823	91,549	100.0%

【参考】令和5年

	申込者数	献血者数	比率
職域	52,704	46,936	50.2%
地域	7,218	6,354	6.8%
街頭	40,378	34,838	37.3%
学域	5,793	4,541	4.9%
その他	903	770	0.8%
合計	106,996	93,439	100.0%

(3) 職業別献血状況(R6年)



職業	献血者数	比率
会社員	189,336	64.8%
公務員	29,259	10.0%
学生(高校生以外)	16,646	5.7%
高校生	6,062	2.1%
その他	51,064	17.5%
計	292,367	100.0%

【参考】令和5年

職業	献血者数	比率
会社員	191,372	64.5%
公務員	29,472	10.5%
学生(高校生以外)	16,901	5.1%
高校生	5,461	1.9%
その他	52,936	18.0%
計	296,142	100.0%

2-5 受入施設別献血者数

愛知県

令和6年は献血ルームでの献血者が、178,149人(60.9%)、移動採血での献血者が、91,549人(31.3%)、血液センターでの献血者が、22,669人(7.8%)であった。

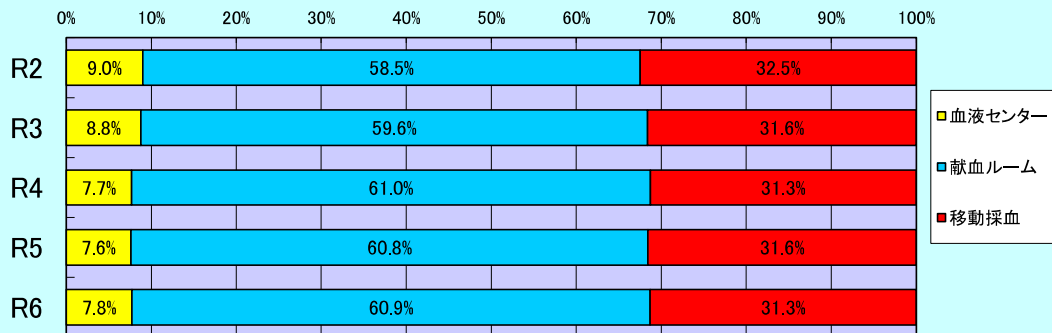
前年と比較すると、血液センターでの献血者数は増加したが、献血ルーム及び移動採血での献血者は減少した。

(単位:人)

	血液センター		献血ルーム		移動採血		合計
R2	26,459	9.0%	171,576	58.5%	95,282	32.5%	293,317
R3	25,997	8.8%	175,801	59.6%	93,241	31.6%	295,039
R4	22,724	7.7%	180,202	61.0%	92,378	31.3%	295,304
R5	22,570	7.6%	180,133	60.8%	93,439	31.6%	296,142
R6	22,669	7.8%	178,149	60.9%	91,549	31.3%	292,367

注) 血液センターは愛知県赤十字血液センター及び愛知県赤十字血液センター豊橋事業所、移動採血は献血バスとオープン採血

受入施設別構成比 (愛知県)



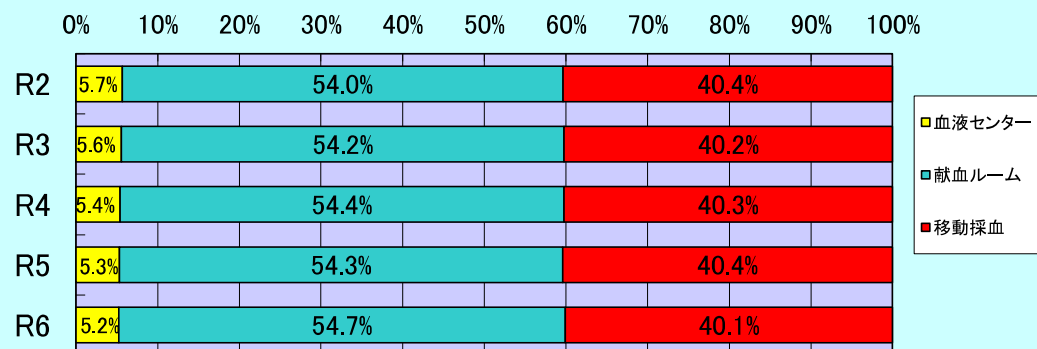
全国

(単位:人)

	血液センター		献血ルーム		移動採血		合計
R2	284,117	5.7%	2,711,927	54.0%	2,028,815	40.4%	5,024,859
R3	283,029	5.6%	2,756,981	54.2%	2,045,993	40.2%	5,086,003
R4	269,270	5.4%	2,714,702	54.4%	2,010,604	40.3%	4,994,576
R5	266,834	5.3%	2,715,291	54.3%	2,021,598	40.4%	5,003,723
R6	263,031	5.2%	2,740,825	54.7%	2,009,208	40.1%	5,013,064

注) 移動採血は献血バスとオープン採血

受入施設別構成比 (全国)



2-6 年別供給状況

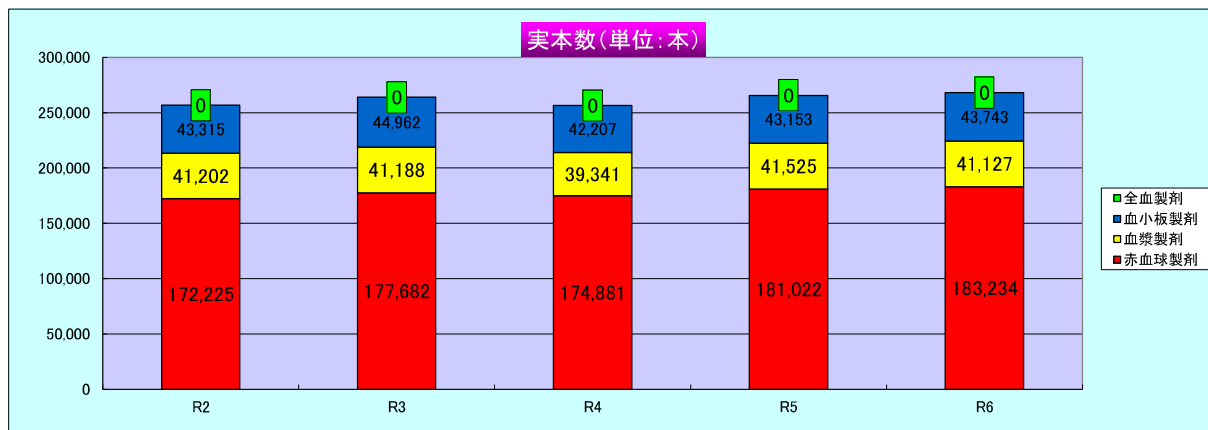
愛知県

令和6年は、実本数で愛知県内に成分製剤を268,104本(岐阜センターからの供給分22,917本含む)供給した。
前年(265,700本(岐阜センターからの供給分21,981本含む))と比較すると、愛知県内への供給本数は、2,404本増加した。

(1) 実本数

(単位:本)

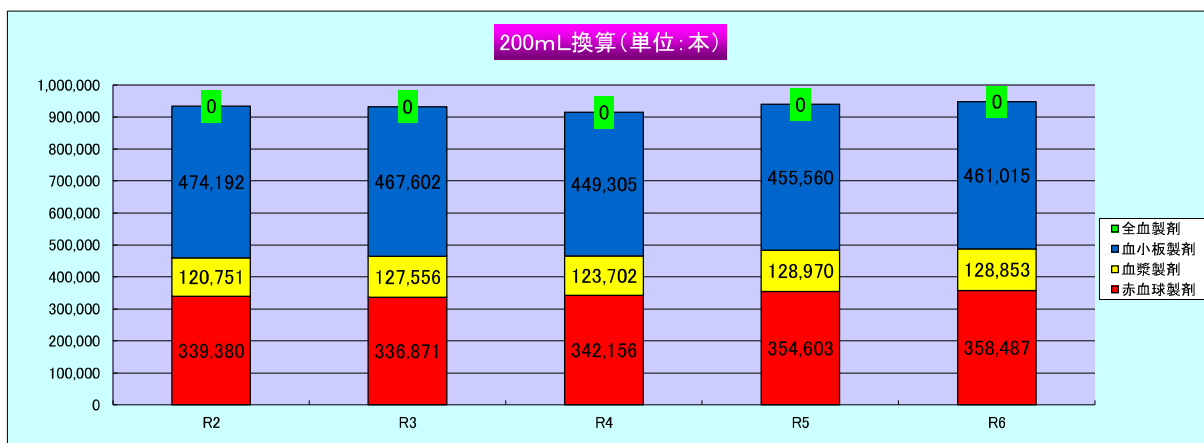
		R2		R3		R4		R5		R6	
		うち岐阜C		うち岐阜C		うち岐阜C		うち岐阜C		うち岐阜C	
全血製剤		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
成分製剤	赤血球製剤	172,225	15,999	177,682	16,515	174,881	15,740	181,022	15,886	183,234	16,348
	血漿製剤	41,202	3,480	41,188	3,427	39,341	3,372	41,525	3,280	41,127	3,166
	血小板製剤	43,315	3,243	44,962	3,334	42,207	3,192	43,153	2,815	43,743	3,403
	小計	256,742	22,722	263,832	23,276	256,429	22,304	265,700	21,981	268,104	22,917
合計		256,742	22,722	263,832	23,276	256,429	22,304	265,700	21,981	268,104	22,917
愛知Cから岐阜県内へ(別掲)		9,495		9,062		9,428		8,135		8,551	



(2) 200mL換算

(単位:本)

		R2		R3		R4		R5		R6	
		うち岐阜C		うち岐阜C		うち岐阜C		うち岐阜C		うち岐阜C	
全血製剤		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
成分製剤	赤血球製剤	339,380	29,607	336,871	30,784	342,156	30,392	354,603	30,774	358,487	31,864
	血漿製剤	120,751	9,316	127,556	8,520	123,702	9,200	128,970	8,926	128,853	8,846
	血小板製剤	474,192	33,980	467,602	32,330	449,305	31,030	455,560	27,675	461,015	33,550
	小計	934,323	72,903	932,029	71,634	915,163	70,622	939,133	67,375	948,355	74,260
合計		934,323	72,903	932,029	71,634	915,163	70,622	939,133	67,375	948,355	74,260



2-7 その他

(1) 回数別実献血者数

	1回	(うち新規<再掲>)	2回	3回	4～10回	11回以上	計
令和4年	87,878	17,981	32,258	12,995	8,446	3,596	145,173
	60.5%	12.4%	22.2%	9.0%	5.8%	2.5%	100.0%
令和5年	86,749	16,425	32,232	13,726	8,469	3,569	144,745
	59.9%	11.3%	22.3%	9.5%	5.9%	2.5%	100.0%
令和6年	87,070	17,838	31,460	13,772	8,433	3,413	144,148
	60.4%	12.4%	21.8%	9.6%	5.9%	2.4%	100.0%

(2) 年齢別新規献血者数

	16～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	計
令和4年	6,412	6,917	2,058	1,339	1,058	197	17,981
	35.7%	38.5%	11.4%	7.4%	5.9%	1.1%	100.0%
令和5年	5,362	6,246	2,094	1,383	1,138	202	16,425
	32.6%	38.0%	12.7%	8.4%	6.9%	1.2%	100.0%
令和6年	6,234	6,645	2,173	1,397	1,173	216	17,838
	34.9%	37.3%	12.2%	7.8%	6.6%	1.2%	100.0%

2-8 保健所・市町村別 献血実績(令和6年)

2024年1月1日から2024年12月31日まで

保健所	市区町村	受付	200	400	成分	合計
愛知県		322,297	7,618	173,797	110,952	292,367
名古屋市		22,959	774	18,710	0	19,484
	千種区	872	60	667	0	727
	東区	1,000	41	844	0	885
	北区	739	20	584	0	604
	西区	1,505	23	1,277	0	1,300
	中村区	977	65	730	0	795
	中区	3,381	173	2,805	0	2,978
	昭和区	1,299	100	954	0	1,054
	瑞穂区	551	47	406	0	453
	熱田区	853	34	686	0	720
	中川区	512	20	426	0	446
	港区	1,933	31	1,666	0	1,697
	南区	1,127	33	967	0	1,000
	守山区	842	16	718	0	734
	緑区	3,276	41	2,816	0	2,857
	名東区	244	18	194	0	212
	天白区	3,848	52	2,970	0	3,022
豊橋市保健所		4,705	486	3,794	0	4,280
	豊橋市	4,705	486	3,794	0	4,280
岡崎市保健所		3,961	344	3,266	0	3,610
	岡崎市	3,961	344	3,266	0	3,610
一宮市保健所		5,920	59	5,195	0	5,254
	一宮市	5,920	59	5,195	0	5,254
豊田市保健所		5,160	139	4,431	0	4,570
	豊田市	5,160	139	4,431	0	4,570
県保健所管内		61,118	1,853	52,498	0	54,351
瀬戸保健所		4,421	230	3,613	0	3,843
	瀬戸市	620	28	505	0	533
	尾張旭市	766	29	666	0	695
	豊明市	533	33	421	0	454
	日進市	1,055	48	883	0	931
	長久手市	1,091	83	831	0	914
	東郷町	356	9	307	0	316
春日井保健所		7,174	167	6,165	0	6,332
	春日井市	2,953	95	2,457	0	2,552
	小牧市	4,221	72	3,708	0	3,780
江南保健所		4,199	89	3,646	0	3,735
	犬山市	907	25	744	0	769
	江南市	946	9	848	0	857
	岩倉市	445	7	391	0	398
	大口町	1,040	28	911	0	939
	扶桑町	861	20	752	0	772
清須保健所		6,297	99	5,461	0	5,560
	稲沢市	3,249	41	2,858	0	2,899
	清須市	721	21	617	0	638
	北名古屋市	328	10	289	0	299
	豊山町	1,999	27	1,697	0	1,724
津島保健所		3,341	58	2,867	0	2,925
	津島市	676	8	568	0	576
	愛西市	383	5	336	0	341
	弥富市	1,111	22	959	0	981
	あま市	355	13	312	0	325
	大治町	280	8	231	0	239
	蟹江町	413	1	353	0	354
	飛島村	123	1	108	0	109

保健所	市区町村	受付	200	400	成分	合計
半田保健所		6,181	70	5,427	0	5,497
	半田市	2,813	35	2,467	0	2,502
	阿久比町	544	6	506	0	512
	東浦町	1,710	10	1,495	0	1,505
	南知多町	199	0	182	0	182
	美浜町	429	8	360	0	368
	武豊町	486	11	417	0	428
知多保健所		7,829	185	6,741	0	6,926
	常滑市	2,191	22	1,887	0	1,909
	東海市	1,825	51	1,610	0	1,661
	大府市	2,740	76	2,333	0	2,409
	知多市	1,073	36	911	0	947
衣浦東部保健所		9,855	225	8,515	0	8,740
	碧南市	1,197	29	1,022	0	1,051
	刈谷市	2,011	63	1,685	0	1,748
	安城市	3,127	84	2,678	0	2,762
	知立市	641	17	545	0	562
	高浜市	516	8	462	0	470
	みよし市	2,363	24	2,123	0	2,147
西尾保健所		3,631	177	3,141	0	3,318
	西尾市	2,928	130	2,545	0	2,675
	幸田町	703	47	596	0	643
新城保健所		1,026	69	876	0	945
	新城市	887	55	761	0	816
	設楽町	75	6	63	0	69
	東栄町	37	2	32	0	34
	豊根村	27	6	20	0	26
豊川保健所		7,164	484	6,046	0	6,530
	豊川市	4,926	342	4,149	0	4,491
	蒲郡市	1,429	99	1,192	0	1,291
	田原市	809	43	705	0	748

愛知センター	205,453	3,797	80,845	103,841	188,483
豊橋センター	13,021	166	5,058	7,111	12,335

献血ルーム	市区町村	受付	200	400	PPP	PC	合計
ゲートタワー26		37,089	904	15,596	12,646	4,536	33,682
	中村区						0
							0
タワーズ20		58,279	781	24,142	16,702	11,195	52,820
	中村区	977	65	730	0	0	795
		96,345	1,750	40,468	29,348	15,731	87,297
大須		15,656	717	12,221	957	313	14,208
	中区						0
							0
栄		35,601	650	13,710	12,242	6,280	32,882
	中区	3,381	173	2,805	0	0	2,978
		54,638	1,540	28,736	13,199	6,593	50,068
豊橋母体		13,021	166	5,058	3,356	3,755	12,335
	豊橋市	4,705	486	3,794	0	0	4,280
		17,726	652	8,852	3,356	3,755	16,615
岡崎		14,606	289	4,874	5,221	3,231	13,615
	岡崎市	3,961	344	3,266	0	0	3,610
		18,567	633	8,140	5,221	3,231	17,225
豊田		15,827	411	6,598	4,485	3,138	14,632
	豊田市	5,160	139	4,431	0	0	4,570
		20,987	550	11,029	4,485	3,138	19,202
愛知母体		11,011	44	3,704	3,540	3,046	10,334
	瀬戸市	620	28	505	0	0	533
		11,631	72	4,209	3,540	3,046	10,867
フォレスト		17,384	1	0	16,309	0	16,310
	西区	1,505	23	1,277	0	0	1,300
		18,889	24	1,277	16,309	0	17,610
愛知センター		205,453	3,797	80,845	72,102	31,739	188,483
豊橋センター		13,021	166	5,058	3,356	3,755	12,335
合計		218,474	3,963	85,903	75,458	35,494	200,818

2-9 献血者住所地別 献血実績(令和6年)

(人)

市区町村名	受付者数	不適格者数	採血数	200mL	400mL	血漿	血小板
千種区	6,904	636	6,268	182	3,174	2,102	810
東区	3,882	341	3,541	60	1,698	1,259	524
北区	6,118	643	5,475	104	2,935	1,859	577
西区	7,755	664	7,091	109	3,002	3,224	756
中村区	7,512	699	6,813	112	2,911	2,947	843
中区	5,226	572	4,654	102	2,403	1,612	537
昭和区	4,813	412	4,401	108	2,296	1,456	541
瑞穂区	4,253	397	3,856	99	1,921	1,331	505
熱田区	2,839	249	2,590	68	1,347	849	326
中川区	8,239	849	7,390	199	3,740	2,517	934
港区	4,497	433	4,064	87	2,369	1,140	468
南区	5,033	497	4,536	91	2,390	1,401	654
守山区	6,906	602	6,304	134	3,396	1,910	864
緑区	9,291	899	8,392	203	5,116	2,093	980
名東区	6,266	583	5,683	126	2,970	1,782	805
天白区	6,057	591	5,466	139	3,056	1,614	657
名古屋市内計	95,591	9,067	86,524	1,923	44,724	29,096	10,781
豊橋市	13,615	988	12,627	539	7,525	2,200	2,363
岡崎市	14,151	1,158	12,993	532	7,311	3,328	1,822
一宮市	12,259	1,159	11,100	269	7,812	2,171	848
豊田市	17,735	1,632	16,103	498	9,333	3,876	2,396
稲沢市	5,652	564	5,088	111	3,212	1,237	528
瀬戸市	4,974	413	4,561	85	2,331	1,314	831
尾張旭市	3,110	257	2,853	66	1,678	730	379
豊明市	2,762	276	2,486	48	1,498	635	305
日進市	3,864	343	3,521	85	2,140	832	464
長久手市	2,647	243	2,404	66	1,394	603	341
東郷町	1,612	136	1,476	47	949	273	207
春日井市	11,606	1,021	10,585	256	6,242	2,791	1,296
小牧市	5,704	610	5,094	107	3,388	1,098	501
犬山市	2,342	279	2,063	61	1,507	355	140
江南市	3,452	362	3,090	65	2,091	703	231
岩倉市	1,912	170	1,742	23	1,044	504	171
大口町	1,038	92	946	22	630	221	73
扶桑町	1,430	111	1,319	32	869	274	144
清須市	3,082	285	2,797	52	1,404	1,052	289
北名古屋市	3,273	275	2,998	56	1,683	979	280
豊山町	696	69	627	16	379	180	52
津島市	2,193	261	1,932	32	1,220	500	180
愛西市	2,455	238	2,217	31	1,284	653	249
弥富市	1,801	194	1,607	32	972	438	165
あま市	3,560	325	3,235	68	1,710	1,086	371
大治町	1,219	127	1,092	17	602	342	131
蟹江町	1,495	168	1,327	26	832	293	176
飛島村	211	28	183	9	122	29	23

市区町村名	受付者数	不適格者数	採血数	200mL	400mL	血漿	血小板
半田市	4,566	486	4,080	96	3,017	601	366
阿久比町	1,179	112	1,067	15	763	198	91
東浦町	2,151	203	1,948	32	1,382	388	146
南知多町	392	46	346	2	287	44	13
美浜町	934	104	830	14	636	128	52
武豊町	1,558	143	1,415	34	1,112	154	115
常滑市	2,128	241	1,887	47	1,444	270	126
東海市	4,519	404	4,115	107	2,860	860	288
大府市	4,654	418	4,236	81	2,611	1,105	439
知多市	3,511	342	3,169	74	2,281	535	279
碧南市	2,300	223	2,077	62	1,448	332	235
刈谷市	5,638	525	5,113	117	3,187	1,178	631
安城市	7,074	681	6,393	195	4,296	1,220	682
知立市	2,625	260	2,365	51	1,550	518	246
高浜市	1,509	146	1,363	20	1,001	203	139
みよし市	2,938	245	2,693	80	1,709	523	381
西尾市	5,254	456	4,798	171	3,462	682	483
幸田町	1,710	166	1,544	50	968	341	185
新城市	1,408	100	1,308	86	977	124	121
設楽町	125	13	112	5	80	11	16
東栄町	65	2	63	3	40	8	12
豊根村	28	2	26	6	20	0	0
豊川市	8,379	637	7,742	410	5,366	1,086	880
蒲郡市	2,768	239	2,529	144	1,721	401	263
田原市	1,685	117	1,568	70	1,082	183	233
愛知県外	27,758	2,768	24,990	472	14,611	6,572	3,335
合計	322,297	29,930	292,367	7,618	173,797	75,458	35,494

令和6年度血液事業概要

(1) 若年層に対する啓発資材の配布

○ 若年層用普及啓発リーフレットの作成

若年層への献血思想の普及を図るため、リーフレット「はじめての献血」を84,000部作成し、二十歳の集い会場等で配布した。また、県内の高校1年生にも配布・周知した。

○ 「10代夏の献血キャンペーン」リーフレット等の配布

夏休みの間に高校生が献血ルーム等に足を運び、献血に触れ合う機会を増やすため、10代夏の献血キャンペーン（7月から9月まで）を周知するリーフレット155,000部及びポスター1,200部（愛知県赤十字血液センター作製）を、県内高等学校等及び高校2、3年生に配布・周知した。

○ 「卒業献血キャンペーン」リーフレット等の配布

卒業を控えた高校生が献血ルーム等に足を運び、献血に触れ合う機会を増やすため、卒業献血キャンペーン（12月～3月）のリーフレット106,000部及びポスター1,400部（愛知県赤十字血液センター作製）を、県内高等学校等及び高校3年生に配布・周知した。

(2) 「はたちの献血」キャンペーンの実施

「はたち」の若者を中心に献血思想の普及を図り、冬季における献血者の確保並びに安全な血液を確保するため、関係機関と連携し「はたちの献血」キャンペーンを実施するとともに、各市町村主催の二十歳の集い等において献血を呼びかける。

実施期間 令和7年1月1日（水）から2月28日（金）まで

(3) 夏休み親子血液教室の実施

児童期からの献血教育を推進するため、小学生の親子を対象とした親子血液教室を開催した。

実 施 日 令和6年8月5日（月）、6日（火）、8日（木）、9日（金）

実 施 場 所 愛知県赤十字血液センター（5日、6日）

愛知県赤十字血液センター豊橋事業所（8日、9日）

実 施 内 容 血液おもしろゼミナール、血液クイズ、血液型検査、施設見学等

結 果 131組 328名（子ども148名、保護者131名、同伴者49人）

(4) 複数回献血キャンペーンの実施

年2回以上の400mL献血を推進するために、愛知県赤十字血液センターの協力の下、令和6年7月から令和7年3月にかけて複数回献血キャンペーンを展開し、400mL複数回献血者の拡大を図っている。

- 啓発ポスター4,000枚を、保健所、市町村、愛知県赤十字血液センター、県内薬局、健康保険組合、ショッピングセンター等へ配布。
- 7月から11月にかけて「けんけつちゃんお約束カード」75,000枚を400mL献血協力者全員に配布し、12月から3月までに再度400mL献血に協力していただいた方に「オリジナルグッズ」13,300個を配布。

(5) 「愛の血液助け合い運動」の実施

全ての血液製剤を献血により安定的に確保できるよう、献血に対する理解と協力を推進するため、関係機関・団体の協力の下、次の事業を行った。

実施期間 令和6年7月1日（月）から31日（水）まで

○ 地域における啓発活動及び広報活動の実施

名古屋市、豊橋市、岡崎市、一宮市、豊田市を始め各市町村と県保健所、関係団体等が協力して献血会場や窓口等で啓発活動を実施し、運動の強化を図った。

○ 献血活動市町村支援

県と市町村が協力して行う啓発活動のために、献血推進キャラクター「けんけつちゃん」を活用したウェットティッシュを8,000個作成し、各市町村の窓口や献血会場における県民各層への献血思想の啓発普及に活用した。

(6) 愛知県献血運動推進大会の開催

献血協力者及び献血協力団体に対して知事感謝状等の贈呈

実 施 日	令和6年7月29日（月）
実 施 場 所	鯉城ホール
感 謝 状 贈 呈	厚生労働大臣表彰（4団体）、厚生労働大臣感謝状（11団体） 愛知県知事感謝状個人（73名）、愛知県知事感謝状団体（17団体）
講 演	「動物園で野生動物を守る」 ～ツシマヤマネコ・ライチョウの保全～
講 師	黒邊 雅実氏
参 加 者	389名

(7) 愛知県献血推進協議会の開催

実 施 日	令和7年2月7日（金）
実施場所	愛知県庁本庁舎 6階 正庁
内 容	1 令和6年度愛知県献血推進計画の進捗状況について 2 令和7年度愛知県献血推進計画（案）について 3 その他

(8) 献血推進ボランティア団体の育成

各市町村の献血推進協議会構成員・献血グループ等の中から献血推進リーダーを選定し、地域の献血推進活動に積極的に参加する献血グループの組織化を図ることを目的に開催する献血担当者研修会と合同研修会を開催した。

実 施 日 令和6年6月27日(木)

実 施 場 所 愛知県自治センター 12階 E会議室

講 演 ① 「献血状況と若年層に対する献血啓発について」

講 師 愛知県赤十字血液センター

事業推進一部長 中津留 敏也氏

講 演 ② 「つなげる命、つながる命 ～献血で救われる命～」

講 師 認定特定非営利活動法人 あいち骨髄バンクを支援する会

事務局長 水谷 久美氏、豊島 嘉子氏

参 加 者 67名

(9) 血液事業担当者会議等の開催

献血推進方策の検討を行うため、県、名古屋市、豊橋市、岡崎市、一宮市、豊田市、日本赤十字社愛知県支部、愛知県赤十字血液センターによる会議を開催した。

第1回 開催日 令和6年4月19日(金)

場 所 愛知県庁三の丸庁舎 8階 801会議室

第2回 開催日 令和6年6月27日(木)

場 所 愛知県自治センター 12階 E会議室

(10) 愛知県合同輸血療法委員会の開催

愛知県内における血液製剤の安全かつ適正な使用を推進するため、県内の主要医療機関の輸血療法委員会関係者による委員会を開催する。

実 施 日 令和7年1月29日(水)

実 施 場 所 愛知県三の丸庁舎 会議室801

内 容 1 輸血用赤血球製剤の使用・保管実態調査について

2 その他

(11) 官庁街献血の実施

夏季 令和6年7月31日(水)、8月1日(木)、2日(金)

冬季 令和7年1月8日(水)、9日(木)、10日(金)

	受付者 (人)	献血者 (人)	献 血 者 の 内 訳 (人)		
			200mL 献血	400mL 献血	成分献血(うち血小板)
夏季	450	405	1	378	26 (6)
冬季	377	352	0	328	24 (13)
計	827	757	1	706	50 (19)

(12) 広報関係事業結果

<テレビ・ラジオ等>

番組名	放送局名	放送日時	内容
まるまる◎あいち	名古屋テレビ	令和6年6月15日、17日	愛の血液助け合い運動月間／400mL 複数回献血キャンペーン／親子血液教室
村上佳菜子の週刊愛ちっち	東海テレビ	令和7年1月23日、26日	「はたちの献血」キャンペーン

<SNS>

SNS名	投稿日	内容
県公式LINE	令和6年6月28日	愛の血液助け合い運動月間
県公式LINE	令和6年7月29日(夏季) 令和6年12月16日(冬季)	官庁街献血及び官庁街骨髓バンクドナー登録会について
県公式X(旧Twitter)	令和6年7月22日(夏季) 令和6年12月16日(冬季)	

<広報番組、広報誌等>

掲載紙名	掲載日	内容
中日新聞、朝日新聞 読売新聞、毎日新聞	令和7年1月5日	広報あいち:(オビ)1月、2月は「はたちの献血」キャンペーンを実施しています。～誰かの明日を考える。はたちの献血～

<県政記者クラブ発表>

発表年月日	内容
令和6年6月7日	7月は「愛の血液助け合い運動」月間です
令和6年7月1日	官庁街献血及び官庁街骨髓バンクドナー登録に御協力お願いします
令和6年12月2日	官庁街献血・官庁街骨髓バンクドナー登録に御協力お願いします

国計画（案）^{（注1）}及び県計画（案）^{（注2）}の今年度からの主な変更点

国計画（案）の主な変更点

第2の事項において、採血事業者が行う、献血者の利便性に配慮しつつ、安全で安心かつ効率的な採血を行うための取組が、ライフスタイルの多様化に対応するための取組であることを明確化することとする。

※令和6年11月開催厚生労働省薬事審議会第1回血液事業部会資料から引用。

県計画（案）の主な変更点

第3 献血目標量の設定

採血計画及び国の原料血漿確保目標量に基づき、献血目標量及び献血目標者数を改めた。

献血目標量	1,053,120 単位（令和6年度）→1,053,893 単位（令和7年度）
※ 773 単位増	
献血目標者数	286,730 人（令和6年度）→290,661 人（令和7年度）
※ 3,931 人増	

（注1）「国計画（案）」・・・令和7年度の献血の推進に関する計画（案）

（注2）「県計画（案）」・・・令和7年度愛知県献血推進計画（案）

令和7年度愛知県献血推進計画（案）

本推進計画は、安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律（昭和 31 年法律第 160 号。以下「法」という。）第 9 条により定める基本方針及び法第 10 条により定める献血推進計画に基づき、本県における令和7年度の献血の推進に関する計画について、愛知県献血推進協議会（以下「献血推進協議会」という。）の意見を踏まえて定めたものである。

なお、献血推進協議会に関する事項については、別に定める。

第 1 基本的な考え方

- 1 県、市町村、愛知県赤十字血液センター（以下「血液センター」という。）、地区献血推進協議会及び献血推進組織等は、協力して、相互扶助に基づく献血の必要性について県民の理解を求め、献血推進運動を展開する。
- 2 今後の人口動態を考慮すると、献血可能人口が減少すると推定されていることから、特に若年層の献血への理解を深めるため普及啓発を実施する。

第 2 関係者の役割

- 1 県は、県民の献血への理解を深め、広報や献血組織の育成等により、献血を推進していくために必要な施策を実施するとともに、血液センターの献血受入計画の実施を確保するための協力を行う。
- 2 市町村は、国及び県と協力して、県民の献血への理解を深めるため普及啓発等を実施するとともに、血液センターの献血受入計画の実施を確保するため、献血会場の確保等の協力を行う。
- 3 血液センターは、国、県及び市町村が行う献血推進の取組に積極的に協力するとともに、県と協議のうえ献血受入計画を作成し、献血受入体制を着実に整備し、献血目標量を確保するための措置を講ずる。また、献血者の安全に配慮するとともに、献血者に心の充足感をもたらし、継続して献血に協力できる環境の整備を行う。
- 4 県及び市町村は、若年層の献血への理解を深めるため、学校に対しても積極的に協力を呼びかける。
- 5 企業等は、献血を休暇措置の対象とする等、進んで献血しやすい環境作りに取り組む。

第 3 献血目標量の設定

県は、国が示した献血目標量に基づき血液センターと協議のうえ、献血目標量及び献血目標者数を種類別（200mL、400mL、成分献血（血漿、血小板））に設定する。

令和7年度の献血目標量及び献血目標者数は以下のとおりとする。なお、各市町村の目標は別に示す。

種類別目標数

		献血目標者数 (人)	献血目標量 (単位)	血液量 (L)	原料血漿量 (L)
全血 献血	200mL 献血	5,063	5,063	1,013	480
	400mL 献血	180,685	361,370	72,274	33,289
	小 計	185,748	366,433	73,287	33,769
成分 献血	血漿成分献血	72,334	361,670	41,620	30,222
	血小板成分献血	32,579	325,790	17,405	7,036
	小 計	104,913	687,460	59,025	37,258
合 計		290,661	1,053,893	132,312	71,027

- * 献血目標量の単位は、200mL 献血を 1 単位、400mL 献血を 2 単位、血漿成分献血を 5 単位、血小板成分献血を 10 単位とする。
- * 血液量の換算は、200mL=0.2L、400mL=0.4L、血漿成分献血（輸血用）=0.48L、血小板成分献血=0.4L とする。ただし、血漿成分献血及び血小板成分献血は原料血漿用を含む、分割製造用を含む等の理由により、表の血液量と換算値は合致しない。

第4 献血目標量を確保するために必要な措置

1 献血に関する普及啓発及び広報活動の実施

県は、国、市町村及び血液センターの協力を得て、輸血用血液製剤及び血漿分画製剤（以下「血液製剤」という。）の安定供給を確保し、その国内自給を推進する。そのため、献血や血液製剤について県民に正確な情報を伝え、その理解と献血への協力を求める事業を次のとおり展開する。

(1) 若年層、幼少期への普及啓発

- ア 高校生、大学生等の献血可能な若い世代を対象としたリーフレット及び啓発資料を作成し、二十歳の集いや学校等を通じて配布する。また、次世代の献血者を育てていくために、小学生の親子を対象として血液教室を開催し、親子が献血に触れ合う機会を設ける。
- イ 愛知県学生献血連盟等、若年層の献血ボランティア団体の活動を支援することにより、大学等における献血運動を推進する。
- ウ SNSを含むインターネット等を主体とした情報発信により、気軽に目に触れる機会を増やすとともに、献血の行動へと繋げるため、国が作成した献血推進キャラクター「けんけつちゃん」を活用し、報道機関及び各関係機関の協力を得て、実効性のある効果的な広報活動を展開する。
- エ 関係機関の協力を得ながら血液センターの活動を支援することにより、高校生を対象とした献血に関する知識の普及を図る。
- オ 血液センターは、「献血セミナー」を開催するとともに、血液センター等での体験学習の機会を積極的に設ける。また、「献血セミナー」等をきっかけとして献血に関心を持った献血未経験者等に献血 WEB 会員サービス「ラブラッ

ド」への登録を働きかける。

カ 県及び市町村は、血液センターが実施する「献血セミナー」や血液センター等での体験学習の機会を学校等において積極的に活用してもらえよう情報提供を行う。

(2) 企業等における献血の推進

ア 移動採血による献血で大きな割合を占める企業等における献血を推進するため、職域の実情に即した方法により企業等における献血組織の育成を促進する。

イ 血液センターは、企業等に対して「献血セミナー」を実施し、正しい知識の普及啓発等を図る。

ウ 血液センターは、企業等における献血に際し、特に若年層労働者の献血促進について協力を求める。

(3) 複数回献血の推進

献血者が減少する時期などにおいても血液製剤の安定供給を確保するため、複数回献血が若年層を含む幅広い層に拡大するよう、キャンペーンを実施するとともに、血液センターは平素から献血 Web 会員サービス「ラブラッド」への登録を働きかける等により献血者へのサービスの向上をするなど、複数回献血の推進を図る。

(4) 献血推進キャンペーン等の実施

ア 7月の「愛の血液助け合い運動」及び1月から2月までの「はたちの献血キャンペーン」を協力団体の後援のもとに実施する。

イ 啓発資材及びリーフレットを作成し、関係機関等に配布する。また、テレビ、SNSを含むインターネット、ポスター等の各広報媒体を効果的に活用し、献血や血液製剤に関する理解と協力を呼びかける。その際、ポスター等についてはインターネット上の情報にアクセスしやすい工夫をする。

2 献血運動推進大会の開催

県民に献血に対する理解と協力を求め、献血運動を一層推進するために、7月に愛知県献血運動推進大会を開催し、献血運動の推進に積極的に協力し、他の模範となる実績を示した個人又は団体に知事感謝状を贈呈する。

3 地区献血推進協議会の設置及び活用

地区献血推進協議会は、地域における献血推進の中核的役割を果たすことが期待されることから、県及び市町村は、地域の実情に応じて地区献血推進協議会の設置を推進するとともに、その活用を図る。

4 献血推進組織等の育成

(1) 市町村の担当職員及び献血協力団体等の構成員等を対象とした研修会を開催し、献血に関する知識・意識の向上を図る。

(2) 県及び市町村は、地域の献血ボランティア団体の組織化及び活動等に対し率先してその支援を行う。

第5 献血の推進に際し、特に配慮すべき事項

- 1 県、市町村及び血液センターは、県民の理解と協力を得ることができるよう、血液事業に係る施策の策定及び実施に当たり、献血の実態、血液製剤の安全性や供給の状況等についての情報を公開する。
- 2 血液センターは、献血者の本人確認及び問診の徹底、H I V等の感染症の検査を目的とした献血を防止するための措置等、献血者の善意の協力を得て、血液製剤の安全性を向上させるための対策を推進する。
- 3 血液センターは、献血者が利用しやすい受入時間の設定等、献血者の利便性に配慮しつつ、献血の受入に当たっては献血申込者に不快の念を与えないよう、丁寧な処遇をすることに特に留意し、献血者の要望を把握するとともに、採血後の休憩スペースの十分な確保等、献血者に安心・安らぎを与える環境作りを図り、献血受入体制の一層の整備及び充実に努める。

また、献血者の個人情報保護するとともに、国の適切な関与の下で献血による健康被害に対する補償のための措置を実施する。

特に初回献血者が抱いている不安等を軽減するため、採血の手順や採血後に十分な休憩をとる必要性、気分が悪くなった場合の対処方法等について、事前説明を十分に行い、献血者の安全確保を図る。

- 4 血液センターは、献血者の利便性に配慮しつつ、安全で安心かつ効率的に採血を行う必要がある。このため、ライフスタイルの多様化に対応するための取組として、立地条件等を考慮した採血所の設置、地域の実情に応じた献血受入時間帯の設定及び移動採血車による計画的採血、企業や団体等の意向を踏まえた集団献血の実施、子育て世代に対応した託児スペースの整備、I C Tを活用したW E B予約の推進等に積極的に取り組む。
- 5 血液センターは、採血に際して献血者の健康管理に資する検査を行い、献血者の希望を確認してその結果を通知する。また、血色素検査により低血色素で献血ができなかった者に対して保健師等による健康相談を実施し、献血者の増加を図る。
- 6 血液センターは、初回献血者や献血に不安がある者に対しては、採血区分（200mL 全血採血、400mL 全血採血又は成分採血）や採血基準を満たしていれば、いずれの採血も安全であることについて十分な説明を行い、献血者の意思を可能な限り尊重した上で、採血区分を決定する。（なお、血液センターが献血者に対し、医療現場において需要の高い400mL 全血採血及び成分採血への協力を求めることは可能である）。

第6 その他献血の推進に関する重要事項等

1 献血推進施策の進捗状況等の確認・評価

- （1）県は、献血受入実績について定期的に血液センターに確認し、市町村に情報を提供する。
- （2）県及び市町村は、献血推進施策の進捗状況についての評価を行い、県は必要に応じて献血推進施策の見直しを行う。

2 輸血用血液製剤の在庫水準の常時把握と不足時の的確な対応

- (1) 県及び血液センターは、赤血球製剤等の在庫水準を常時把握し、在庫が不足する場合又は不足が予測される場合には、供給に支障を来す危険性を勘案し、国の献血推進本部設置要綱（平成 17 年 4 月 1 日決定）及び血液センターが策定した対応マニュアルに基づき所要の対策を講ずる。
- (2) 県は、血液製剤の供給に支障を来たさないよう、必要に応じて献血推進対策本部会議を開催し、血液確保対策の推進を図る。

3 災害時等における献血の確保等

- (1) 県は愛知県地域防災計画に基づき、災害時における血液製剤の確保に必要な対策を講ずる。
- (2) 県及び市町村は、血液センターと連携して災害時等における医療需要に応じた必要な血液が確保されるよう、様々な媒体を活用し、献血への協力を呼びかける。その際、血液センターは、被害状況等の情報収集を行ったうえで、献血の受入れの可否について判断するなど、献血者の安全に十分配慮する。
- (3) 血液センターは、あらかじめ災害時等に備えて、関係者との通信手段の確保、広域的な需要調整の対応を含む事業継続計画を定める。
- (4) 採血事業は、医療体制の維持に不可欠なものであることを踏まえ、血液センターは、新興・再興感染症のまん延下の状況であっても、医療需要に応じた血液製剤の安定供給を図るため、安心・安全な献血環境の保持と献血者への感染防止を十分に行うとともに、献血者へ感染症対策についての情報発信を適切に行う。
- (5) 県及び市町村は、血液センターの取組を支援する。

4 血液製剤の適正使用の推進

県は血液センターの協力のもと、合同輸血療法委員会を開催し、血液製剤の適正使用や輸血療法の実施等に関する指針について医療機関に情報提供を行う。

5 その他

本推進計画に定めるもののほか、県は、献血の推進に関する重要事項について、血液センター、市町村及び関係機関等と協議のうえ、必要に応じて献血推進協議会の意見を踏まえて定めるものとする。

令和7年度市町村別献血目標

	献血目標 (単位)	200mL献血 (人) 1.7%	400mL献血 (人) 62.2%	血漿 成分献血(人) 24.9%	血小板 成分献血(人) 11.2%	献血目標 (人)	(参考) 令和3～令和5年度 配車実績合計(回)
愛知県	1,053,893	5,063	180,685	72,334	32,579	290,661	7,832
移動採血	188,572	2,606	92,983	0	0	95,589	7,832
名古屋市	41,795	573	20,611	—	—	21,184	1,736
豊橋市	11,148	154	5,497	—	—	5,651	463
岡崎市	8,763	121	4,321	—	—	4,442	364
一宮市	8,668	120	4,274	—	—	4,394	360
豊田市	8,956	124	4,416	—	—	4,540	372
県保健所管内	109,242	1,514	53,864	—	—	55,378	4,537
瀬戸保健所	8,527	119	4,204	—	—	4,323	354
瀬戸市	1,734	24	855	—	—	879	72
尾張旭市	1,276	18	629	—	—	647	53
豊明市	651	9	321	—	—	330	27
日進市	2,144	30	1,057	—	—	1,087	89
長久手市	1,517	21	748	—	—	769	63
東郷町	1,205	17	594	—	—	611	50
春日井保健所	11,702	162	5,770	—	—	5,932	486
春日井市	5,080	70	2,505	—	—	2,575	211
小牧市	6,622	92	3,265	—	—	3,357	275
江南保健所	7,224	100	3,562	—	—	3,662	300
犬山市	1,590	22	784	—	—	806	66
江南市	1,661	23	819	—	—	842	69
岩倉市	746	10	368	—	—	378	31
大口町	2,022	28	997	—	—	1,025	84
扶桑町	1,205	17	594	—	—	611	50
清須保健所	9,944	138	4,903	—	—	5,041	413
稲沢市	5,056	70	2,493	—	—	2,563	210
清須市	1,276	18	629	—	—	647	53
北名古屋市	722	10	356	—	—	366	30
豊山町	2,890	40	1,425	—	—	1,465	120
津島保健所	6,451	89	3,181	—	—	3,270	268
津島市	1,227	17	605	—	—	622	51
愛西市	890	12	439	—	—	451	37
弥富市	1,854	26	914	—	—	940	77
あま市	578	8	285	—	—	293	24
大治町	602	8	297	—	—	305	25
蟹江町	819	11	404	—	—	415	34
飛島村	481	7	237	—	—	244	20

	献血目標 (単位)	200mL献血 (人) 1.7%	400mL献血 (人) 62.2%	血漿 成分献血(人) 24.9%	血小板 成分献血(人) 11.2%	献血目標 (人)	(参考) 令和3～令和5年度 配車実績合計(回)
半田保健所	9,944	138	4,903	—	—	5,041	413
半田市	4,383	61	2,161	—	—	2,222	182
阿久比町	915	13	451	—	—	464	38
東浦町	2,600	36	1,282	—	—	1,318	108
南知多町	337	5	166	—	—	171	14
美浜町	819	11	404	—	—	415	34
武豊町	890	12	439	—	—	451	37
知多保健所	14,807	205	7,301	—	—	7,506	615
常滑市	3,876	54	1,911	—	—	1,965	161
東海市	3,490	48	1,721	—	—	1,769	145
大府市	5,731	79	2,826	—	—	2,905	238
知多市	1,710	24	843	—	—	867	71
衣浦東部保健所	17,170	238	8,466	—	—	8,704	713
碧南市	1,156	16	570	—	—	586	48
刈谷市	3,083	43	1,520	—	—	1,563	128
安城市	6,117	85	3,016	—	—	3,101	254
知立市	1,205	17	594	—	—	611	50
高浜市	963	13	475	—	—	488	40
みよし市	4,646	64	2,291	—	—	2,355	193
西尾保健所	5,971	83	2,944	—	—	3,027	248
西尾市	4,551	63	2,244	—	—	2,307	189
幸田町	1,420	20	700	—	—	720	59
新城保健所	2,912	40	1,436	—	—	1,476	121
新城市	2,407	33	1,187	—	—	1,220	100
設楽町	241	3	119	—	—	122	10
東栄町	144	2	71	—	—	73	6
豊根村	120	2	59	—	—	61	5
豊川保健所	14,590	202	7,194	—	—	7,396	606
豊川市	9,919	137	4,891	—	—	5,028	412
蒲郡市	2,793	39	1,377	—	—	1,416	116
田原市	1,878	26	926	—	—	952	78
固定施設	865,321	2,457	87,702	72,334	32,579	195,072	—

* 献血目標の単位は、200mL献血を1単位、400mL献血を2単位、血漿成分献血を5単位、血小板成分献血を10単位として計算している。

* 200mL及び400mL献血については、過去3か年(R1～R3年度)の市町村別配車実績を元に市町村別献血目標を算出した。

* 成分献血については、原則として献血ルーム・血液センターで採血することとし、市町村別献血目標の対象としない。

令和7年度血液事業(案)の概要

昭和39年「献血の推進について」閣議決定

昭和39年8月21日

昭和39年「献血推進対策要綱」厚生省薬務局長通知

平成15年「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」施行

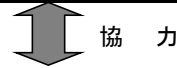
平成15年7月30日

愛知県献血推進協議会

議長：会長（献血思想の普及）
委員：団体代表13名・学識経験者5名（献血組織の育成）
行政職員9名（献血推進計画の設定）
事務局：医薬安全課

愛知県献血推進計画

合同輸血療法委員会

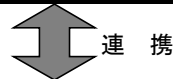


医療機関
(輸血療法委員会)

- 輸血用血液製剤県内献血確保維持
- 若年層献血の推進
- 医療現場の需要に応じ
400mL・成分献血の推進
- 複数回献血の推進
- 地域・職域献血の推進

- 愛知県献血運動推進大会
- 高校生、新20歳へのリーフレット配布
- 学生献血キャンペーンの支援
- 親子血液教室の開催
- 400mL複数回献血キャンペーン

保健所



市町村
(献血推進協議会)

愛の血液助け合い運動
7月

はたちの献血キャンペーン
1月～2月

若年層対策

- ①二十歳の集い・大学祭・文化祭など若者の集まる場所における啓発
- ②親子血液教室の開催
- ③愛知県学生献血連盟の活動支援

献血活動市町村支援

- ①献血推進担当者研修会の開催
- ②市町村の健康まつりや産業まつりなどにおける啓発活動

献血推進 ボランティア団体育成

- ①献血推進リーダー研修会の開催
- ②地域・職域献血グループへの啓発、ライオンズクラブなどボランティア団体への働きかけ

令和7年度献血推進のための具体的方策(案)

献血推進・知識普及事業

◆愛の血液助け合い運動月間（期間7月1日～7月31日）

○愛知県献血運動推進大会の開催(7月25日予定)【愛知県・日本赤十字社愛知県支部・市町村】

- ・献血協力者、献血協力団体に対して知事感謝状等の贈呈
- ・講演会の開催

○地域での啓発活動及び街頭活動

【愛知県・愛知県赤十字血液センター・市町村】

- ・各市町村と地区献血推進協議会の関係機関及び協力団体が街頭活動等を展開

＜資材＞ポスター、啓発グッズ（6月）

（令和6年度 ポスター510枚（厚労省作成）、ウェットティッシュ 8,000個）

◆複数回献血キャンペーン（7月～3月末）

【愛知県・愛知県赤十字血液センター】

- ・400mL献血を期間内に2回された方にオリジナルグッズを進呈

＜資材＞啓発ポスター、オリジナルグッズ

（令和6年度 ポスター4,000枚、オリジナルグッズ 13,300個）

◆夏休み親子血液教室（8月）

【愛知県・愛知県赤十字血液センター】

- ・小学生の親子を対象に、献血についての啓発を実施

（令和6年度 8月5日、6日、8日、9日実施）

◆「はたちの献血」キャンペーン（1月、2月）

【愛知県・市町村】

- ・各市町村主催の二十歳の集い等において献血を呼びかける。

＜資材＞リーフレット、啓発グッズ等

（令和6年度 リーフレット「はじめての献血」 22,700部）

◆若年層への知識普及

【厚生労働省・愛知県・教育委員会・市町村】

○高校生への知識普及

医療での血液製剤の必要性、献血の現状等を解説した資料を活用

＜資材＞リーフレット「はじめての献血」を高校1年生に配布（令和6年度 61,300部）

◆学生献血連盟の推進キャンペーン

【学生献血連盟・愛知県・愛知県赤十字血液センター】

○スプリングキャンペーン（3月） ○サマーキャンペーン（8月）

○クリスマスキャンペーン（12月）

◆「献血セミナー」の開催（年間）

【愛知県赤十字血液センター】

血液センターは献血への感心のきっかけを作り、将来にわたり献血への協力の動機付けの取り組みとして、インターネット等を活用した新たな受入体制を整え、小学校・中学校・高等学校等へ「献血セミナー」や「施設見学」を推進する。

◆企業・団体等職域へのアプローチ

【愛知県赤十字血液センター・市町村】

過去から実績のある献血協力団体には、引き続き献血の計画を依頼する。

献血に積極的に協力していただける企業・団体として、『献血サポーター』への参加を依頼する。

市町村、ライオンズクラブ等の献血協力団体に、献血未実施の企業、団体を紹介してもらうなどして、新規献血団体の開拓をする。

5年以上献血協力がない休眠企業・団体について、改めて献血実施（再開）を依頼する。

献血を年1回実施している団体について、年複数回（2回以上）の実施を積極的に依頼する。

企業・団体に対して、「献血セミナー」を実施し、正しい知識の普及啓発等を図る。

企業・団体における献血に際し、特に若年層の労働者の献血促進について協力を求める。

献血推進のための会議・研修会等

会議・研修会等	実施予定時期	内 容
献血関係機関打合せ会議	令和7年4月、6月	・愛知県献血推進運動大会について ・市町村・保健所献血推進担当者会議及び献血推進リーダー研修会について
市町村献血担当者会議	令和7年6月	・愛知県献血推進計画の説明 ・血液事業の現状説明 ・市町村における献血推進活動の情報交換等
献血推進リーダー研修会	令和7年6月	・医療における血液製剤の重要性 ・血液事業の現状 ・献血の推進
愛知県合同輸血療法委員会	令和8年1月	・輸血用血液製剤の適正使用の推進
愛知県献血推進協議会	令和8年1月	・血液事業の現状説明 ・愛知県献血推進計画の策定に関する協議 ・献血推進事業の実施状況説明